

参考資料1 健康あおもり21（第2次）最終評価シート



健康あおもり21(第2次)指標の最終評価シート(78項目)

担当部署	領域	分野	目標項目	指標	最終評価結果	中間評価結果	指標の見直し
<b>栄養・運動部会</b>							
1 生活習慣の改善	(1) 栄養・食生活	① 適正体重を維持している者の増加(肥満、やせの減少)	20歳～60歳代男性の肥満者の割合	D	D		
			40歳～60歳代女性の肥満者の割合	D	D		
			20歳代女性のやせの者の割合	E	E		
			② 肥満傾向にある子どもの割合の減少	10歳(小学5年生)の肥満傾向児の割合(男女合計値)	D		
			③ 低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の増加の抑制	低栄養傾向の高齢者の割合	A	A	
			④ 食塩摂取量の減少(成人)	成人の食塩摂取量	D	C	
	(2) 身体活動・運動	⑤ 野菜と果物の摂取量の増加	野菜摂取量の平均値(20歳以上)	B	B		
			野菜摂取量の平均値(7～14歳)	D	A	○	
			果物摂取量100g未満の者の割合	D	D		
			⑥ 利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合の増加	管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合	B	A	○
⑦ 日常生活における歩数の増加	20～64歳男性の1日当たりの平均歩行数	D	B				
	20～64歳女性の1日当たりの平均歩行数	D	D				
	65歳以上男性の1日当たりの平均歩行数	B	D				
	65歳以上女性の1日当たりの平均歩行数	B	B				
	⑧ 運動習慣者の割合の増加	20～64歳男性の運動習慣者の割合	D	D			
	20～64歳女性の運動習慣者の割合	D	D				
20～64歳総数の運動習慣者の割合	D	D					
65歳以上男性の運動習慣者の割合	D	B					
65歳以上女性の運動習慣者の割合	D	D					
65歳以上総数の運動習慣者の割合	D	B					
⑨ 住民が運動しやすいまちづくり・環境整備について協議する市町村の増加	住民が運動しやすいまちづくり・環境整備について協議する市町村数	A	B				
<b>こころ・アルコール部会</b>							
1 生活習慣の改善	(3) 飲酒	① 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者(一日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者)の割合の減少	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している男性の割合	D	D		
			生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している女性の割合	D	D		
		② 未成年者の飲酒をなくす	中学3年生男子の飲酒の割合	B	B		
			中学3年生女子の飲酒の割合	B	B		
			高校3年生男子の飲酒の割合	B	B		
高校3年生女子の飲酒の割合	B	B					
③ 妊娠中の飲酒をなくす	妊婦の飲酒の割合	B	B				
<b>糖尿病・循環器病・がん・たばこ部会</b>							
1 生活習慣の改善	(4) 喫煙	① 成人の喫煙率の減少	成人男性の喫煙率	B	B		
			成人女性の喫煙率	D	D		
		② 未成年者の喫煙をなくす	中学1年生男子の喫煙の割合	B	B		
			中学1年生女子の喫煙の割合	A	C		
			高校3年生男子の喫煙の割合	B	B		
			高校3年生女子の喫煙の割合	B	B		
③ 妊娠中の喫煙をなくす	妊婦の喫煙の割合	B	B				
④ 受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している施設の割合の増加	受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している県庁舎の割合の増加	A	B				
	受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している市町村庁舎の割合の増加	A	B				
	受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している文化施設の割合の増加	B	B				
	受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している教育・保育施設の割合の増加	B	B				
	受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している医療機関の割合の増加	B	B				
	受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している事業所(50人以上)の割合の増加	B	B				
受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している事業所(50人未満)の割合の増加	B	B					

担当部会	領域	分野	目標項目	指標	最終評価結果	中間評価結果	指標の見直し
<b>歯科部会</b>							
1	生活習慣の改善	(5)歯・口腔の健康	①3歳児でう蝕がない者の割合の増加	3歳児でう蝕がない者の割合	B	B	
			②3歳児で過去1年間でフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合の増加	3歳児で過去1年間でフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合	B	B	○
			③12歳児で一人平均う蝕数の減少	12歳児の一人平均う蝕数	A	B	
			④40歳代における進行した歯周炎を有する者の減少	40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合	E	D	
			⑤40歳で喪失歯のない者の割合の増加	40歳で喪失歯のない者の割合	E	A	○
			⑥60歳で24歳以上の自分の歯を有する者の割合の増加	60歳で24歳以上の自分の歯を有する者の割合	E	A	○
			⑦80歳で20歳以上の自分の歯を有する者の割合の増加	80歳で20歳以上の自分の歯を有する者の割合	E	B	
			⑧過去1年間に歯科検診を受診した者の増加	過去1年間に歯科検診を受診した者の割合(20歳以上)	B	B	

**糖尿病・循環器病・がん・たばこ部会**

2	生活習慣病の発症予防と重症化予防	(1)がん	①75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少	75歳未満のがんの年齢調整死亡率(人口10万対)	A	B	○
			②がん検診の受診率の向上	男性の胃がん検診の受診率	A	B	
				女性の胃がん検診の受診率	B	B	
				男性の肺がん検診の受診率	A	A	
				女性の肺がん検診の受診率	A	B	
				男性の大腸がん検診の受診率	A	B	
				女性の大腸がん検診の受診率	B	B	
				20~69歳女性の子宮頸がん検診の受診率	B	B	
		女性の乳がん検診の受診率		B	B		
		(2)循環器疾患	①脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少	男性の脳血管疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)	E	A	○
				女性の脳血管疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)	E	A	○
				男性の虚血性心疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)	E	A	○
				女性の虚血性心疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)	E	A	○
		②高血圧の改善(収縮期血圧の平均値の低下)	男性の収縮期血圧の平均値	A	A		
			女性の収縮期血圧の平均値	A	A		
		③脂質異常症の減少	男性のLDLコレステロールが160mg/dl以上の者の割合	B	B		
女性のLDLコレステロールが160mg/dl以上の者の割合	B		B				
④メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合	D	D	○			
	⑤特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上	特定健康診査の実施率 特定保健指導の実施率	B B	B B			
(3)糖尿病	①合併症の減少	糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数	B	D			
		②メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少【再掲】	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合【再掲】	D	D	○	
		③特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上【再掲】	特定健康診査の実施率【再掲】 特定保健指導の実施率【再掲】	B B	B B		
(4)COPD(慢性閉塞性肺疾患)	①COPDの認知度の向上	COPDの認知度	E	B			

**こころ・アルコール部会**

3	こころの健康	(1)こころの健康づくり	①自殺者の減少	自殺死亡率(人口10万対)	B	A	○
		(2)休養(睡眠)	①睡眠による休養が十分にとれていない者の割合の減少	睡眠による休養が十分にとれていない者の割合	B	C	
		(3)認知症	①認知症サポーター及びキャラバン・メイトの数	認知症サポーター及びキャラバン・メイトの数	A		

**【参考資料】**

領域1 生活習慣の改善	分野(1)栄養・食生活	指標1 20歳~60歳代男性の肥満者の割合	青森県総合健診センター健診受診者の肥満者の割合 (BMI 25.0以上)	男性
		指標2 40歳~60歳代女性の肥満者の割合		女性
	分野(4)喫煙	指標29 成人男性の喫煙率	青森県総合健診センター健診受診者の喫煙率	男性
		指標30 成人女性の喫煙率		女性

領域	1 生活習慣の改善														
分野	(1) 栄養・食生活														
目標項目	①適正体重を維持している者の割合の増加(肥満、やせの減少)														
指標	1 20歳～60歳代男性の肥満者(注1)の割合														
データソース	青森県県民健康・栄養調査														
評価	D														
評価及び今後の課題	基準値と比較し、悪化した。 県民の生活習慣の改善に向けた積極的な取組を進めていく必要がある。														
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	37.4%						41.2%						41.5%	
	標本数	171人中 64人						182人中 75人						147人中 61人	
	達成の目安(計画策定時)	37.4%	37.1%	36.8%	36.6%	36.3%	36.0%	35.7%							
	達成の目安(中間評価後)								41.2%	40.2%	39.1%	38.1%	37.1%	36.1%	35.0%

領域	1 生活習慣の改善														
分野	(1) 栄養・食生活														
目標項目	①適正体重を維持している者の割合の増加(肥満、やせの減少)														
指標	2 40歳～60歳代女性の肥満者(注1)の割合														
データソース	青森県県民健康・栄養調査														
評価	D														
評価及び今後の課題	基準値と比較し、悪化した。 県民の生活習慣の改善に向けた積極的な取組を進めていく必要がある。														
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	22.0%						24.8%						34.6%	
	標本数	168人中 97人						149人中 97人						127人中 44人	
	達成の目安(計画策定時)	22.0%	21.8%	21.5%	21.3%	21.0%	20.8%	20.5%							
	達成の目安(中間評価後)								24.8%	24.0%	23.1%	22.3%	21.5%	20.7%	19.8%

<参考>  
県内医療保険者(市町村国保、協会けんぽ、各共済組合、各健保組合)の特定健康調査の間診票データの集約結果

	2016(H28)	2020(R2)
40～60歳代 男性の肥満者の割合	36.9% (98,842人中 36,496人)	41.3% (99,449人中 41,064人)

<参考>  
県内医療保険者(市町村国保、協会けんぽ、各共済組合、各健保組合)の特定健康調査の間診票データの集約結果

	2016(H28)	2020(R2)
40～60歳代 女性の肥満者の割合	24.4% (94,606人中 23,118人)	25.8% (96,630人中 24,930人)

(注1) BMI25.0以上を肥満者とする。

(注1) BMI25.0以上を肥満者とする。

領域	1 生活習慣の改善													
分野	(1) 栄養・食生活													
目標項目	①適正体重を維持している者の割合の増加(肥満、やせの減少)													
指標	3 20歳代女性のやせの者(注2)の割合													
データソース	青森県県民健康・栄養調査													
評価	E													
評価及び今後の課題	標本数が少なく、評価困難。 標本数が少ないことから、別指標によるモニタリングをして判断していく必要がある。													
データ	年度	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	16.0%					4.2%						18.2%	
	標本数	25人中 4人					24人中 1人						11人中 2人	
	達成の目安(計画策定時)	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%							
	達成の目安(中間評価後)							16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%

領域	1 生活習慣の改善														
分野	(1) 栄養・食生活														
目標項目	②肥満傾向にある子どもの割合の減少														
指標	4 10歳(小学5年生)の肥満傾向児の割合(注4)の割合(男女合計値)														
データソース	県教育委員会学校保健調査														
評価	D														
評価及び今後の課題	中間評価から新たな指標となったが、年々増加し、悪化している。 コロナの影響で身体活動が少なくなったことも要因として考えられる。家庭と学校の両方から介入していくことが必要であり、教育委員会と連携して、改善に向けた取組を進めていく。														
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	9.0%	9.0%	8.3%	7.9%	8.1%	8.5%	8.1%	8.0%	13.4%	13.6%	15.8%	16.0%	17.0%	10.0%
	標本数	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆
	達成の目安(計画策定時)	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%						
	達成の目安(中間評価後)	5.8%	5.8%	5.8%	5.8%	5.8%	5.8%	5.8%	5.8%			12.5%	12.0%	11.5%	11.0%

<参考>  
17歳(高校3年生)女子の瘦身傾向児(注3)の出現率(出典:県教育委員会学校保健調査)

2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)
1.3%	1.4%	1.7%	1.9%	1.7%	2.1%	2.0%

青森県総合健診センター健診受診者の20歳代女性のやせの割合(BMI18.5未満)

H22年度(2010)	H28年度(2016)	R4年度(2022)
18.9%	17.5%	17.0%
5,388人中 1,018人	5,450人中 953人	6,416人中 1,088人

(注2) BMI18.5未満をやせの者とする。  
(注3) 性別・年齢別・身長別標準体重から求めた肥満度がマイナス20%以下の者

(注4) 性別・年齢別・身長別標準体重から求めた肥満度がプラス20%以上の者を肥満傾向児という。  
(注5) H22～H29は男女別の指標であったことから、上段に男子、下段に女子の数値を記載。

領域	1 生活習慣の改善														
分野	(1) 栄養・食生活														
目標項目	③低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の増加の抑制														
指標	5 低栄養傾向の高齢者の割合														
データソース	青森県県民健康・栄養調査														
評価	A														
評価及び今後の課題	基準値と比較し、目標値19.0%以下を維持し、目標値に達した。 引き続きモニタリングをして判断していく必要があると考える。フレイル対策として、部内の連携を回りながらフレイル対策を推進していく。														
データ	年度	2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)
データ	現状値	15.5%						9.0%						14.3%	
データ	標本数	238人中 37人						222人中 20人						161人中 23人	
データ	達成の目安(計画策定時)	15.5%	15.8%	16.1%	16.4%	16.7%	17.0%	17.2%							
データ	達成の目安(中間評価後)							9.0%	10.4%	11.9%	13.3%	14.7%	16.1%	17.6%	19.0%以下

領域	1 生活習慣の改善														
分野	(1) 栄養・食生活														
目標項目	④食塩摂取量の減少(成人)														
指標	6 成人の食塩摂取量														
データソース	青森県県民健康・栄養調査														
評価	D														
評価及び今後の課題	基準値と比較し、目標値には達していない。 コロナ禍の外出自粛中は加工食品を中心とした食事になった可能性も考えられる。既存の取組を再検証し、対象に合わせた展開を検討する必要がある。														
データ	年度	2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)
データ	現状値	10.5g						10.5g						10.9g	
データ	標本数	720						726						648	
データ	達成の目安(計画策定時)	10.5g	10.3g	10.1g	9.9g	9.7g	9.5g	9.3g							
データ	達成の目安(中間評価後)							10.5g	10.1g	9.8g	9.4g	9.1g	8.7g	8.4g	8.0g

<参考>  
県内医療保険者(協会けんぽ)の特定健康診査の間診票データの集約結果

	2016(H28)	2020(R2)
65歳以上 BMI20以下の者の割合	12.9% (9,936人中1,277人)	12.5% (20,728人中2,594人)

<参考>  
目標値を上回って食塩を摂取している成人の割合(青森県県民健康・栄養調査より)

2010(H22)	2016(H28)	2022(R4)
48.9%*	72.3%	71.0%

\*H22は目標値を10gで区分していた

領域	1 生活習慣の改善														
分野	(1) 栄養・食生活														
目標項目	⑤野菜と果物の摂取量の増加														
指標	7 野菜摂取量の平均値(20歳以上)														
データソース	青森県県民健康・栄養調査														
評価	B														
評価及び今後の課題	基準値と比較し、目標値には達していない。 コロナ禍における外出制限の影響で、生鮮食品の購入が難しかったことも考えられる。既存の取組を再検証し、対象に合わせた展開を検討する必要がある。														
データ	年度	2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)
データ	現状値	265.0g						300.2g						279.5g	
データ	標本数	720						726						648	
データ	達成の目安(計画策定時)	265.0g	272.1g	279.2g	286.2g	293.3g	300.4g	307.5g							
データ	達成の目安(中間評価後)						300.2g	307.3g	314.4g	321.5g	328.7g	335.8g	342.9g	350.0g	

領域	1 生活習慣の改善														
分野	(1) 栄養・食生活														
目標項目	⑤野菜と果物の摂取量の増加														
指標	8 野菜摂取量の平均値(7~14歳)														
データソース	青森県県民健康・栄養調査														
評価	D														
評価及び今後の課題	基準値と比較し、目標値には達していない。 コロナ禍における外出制限の影響で、食卓に野菜が上らなかったことも考えられる。既存の取組を再検証し、対象に合わせた展開を検討する必要がある。														
データ	年度	2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)
データ	現状値	253.0g						265.4g						234.3g	
データ	標本数	68						45						62	
データ	達成の目安(計画策定時)	250.0g	250.0g	250.0g	250.0g	250.0g	250.0g	250.0g							
データ	達成の目安(中間評価後)							265.4g	270.3g	275.3g	280.2g	285.2g	290.1g	295.1g	300.0g

<参考>  
年代別の野菜の摂取量の目安(g/日)(出典:第6次日本人の栄養所要量の活用編(2000年))

	6~8歳	9~11歳	12~14歳	6~14歳(平均)
緑黄色野菜	90	90	100	93
その他の野菜	150	200	200	183
野菜合計	240	290	300	276

領域	1 生活習慣の改善														
分野	(1) 栄養・食生活														
目標項目	⑤野菜と果物の摂取量の増加														
指標	9 果物摂取量100g未満の者の割合(成人)														
データソース	青森県県民健康・栄養調査														
評価	D														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、悪化した。</p> <p>既存の取組として、果物の適切な摂取についての取組は行われていないことから、新たな展開を検討する必要がある。また、バランスの良い食事の普及等、さらなる取り組み強化が必要である。</p>														
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	56.5%						59.5%						66.0%	
	標本数	720人中 407人						726人中 432人						648人中 414人	
	達成の目安(計画策定時)	56.5%	54.1%	51.8%	49.4%	47.0%	44.6%	42.3%							
	達成の目安(中間評価後)								59.3%	54.8%	50.4%	45.9%	41.4%	36.9%	32.5%

-9-

領域	1 生活習慣の改善														
分野	(2) 身体活動・運動														
目標項目	①日常生活における歩数の増加														
指標	11 20～64歳 男性の1日当たりの平均歩行数														
データソース	青森県県民健康・栄養調査														
評価	D														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、有意な変化はなく、目標値には達していない。</p> <p>コロナ禍での外出制限の影響で身体活動が制限されていたことが考えられる。全市町村が住民の運動しやすいまちづくりを推進し、環境整備に取り組んでいることから、県においても、運動する機会を提供するなど、市町村と連携した運動に関する環境づくりを推進する必要がある。</p> <p>なお、男女別の対策とならないことから、次回指標とするときは、男女別ではなく総数で把握し、引き続きモニタリングしていく必要がある。</p>														
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	6,884歩						7,418歩						6,488歩	
	標本数	182						199						133	
	達成の目安(計画策定時)	6,884歩	7,019歩	7,153歩	7,288歩	7,423歩	7,557歩	7,692歩	7,827歩	7,961歩	8,096歩	8,231歩	8,365歩	8,500歩	
	達成の目安(中間評価後)							7,418歩	7,573歩	7,727歩	7,882歩	8,036歩	8,191歩	8,345歩	8,500歩

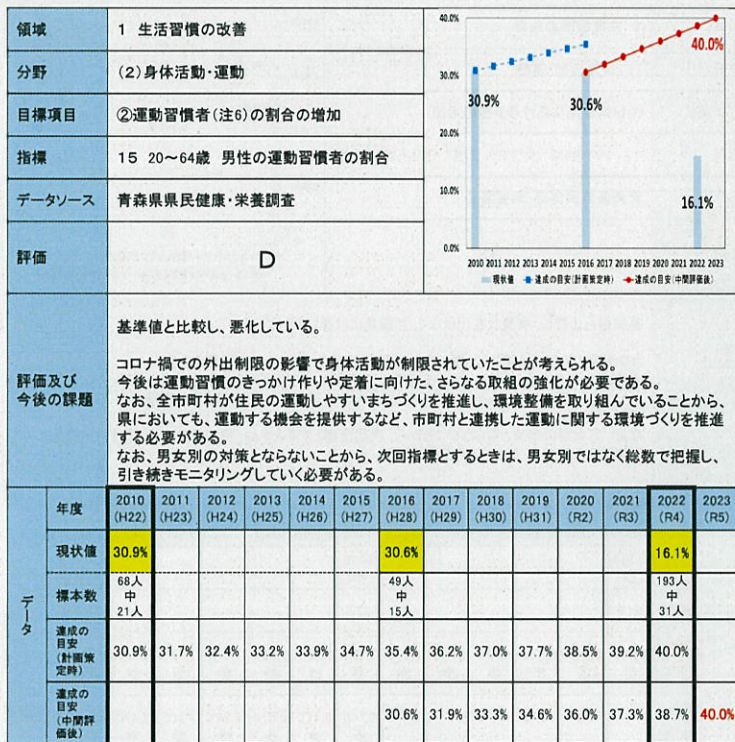
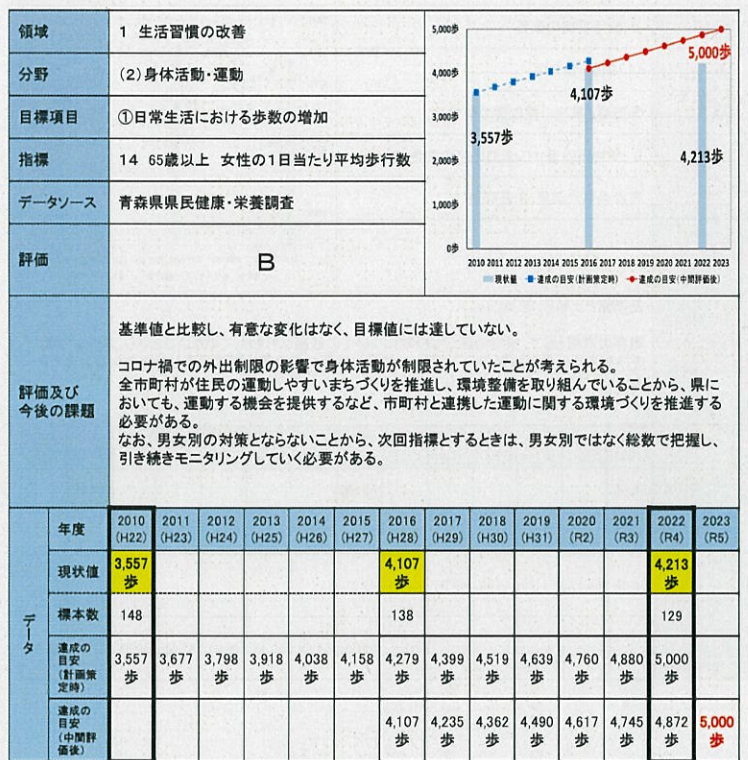
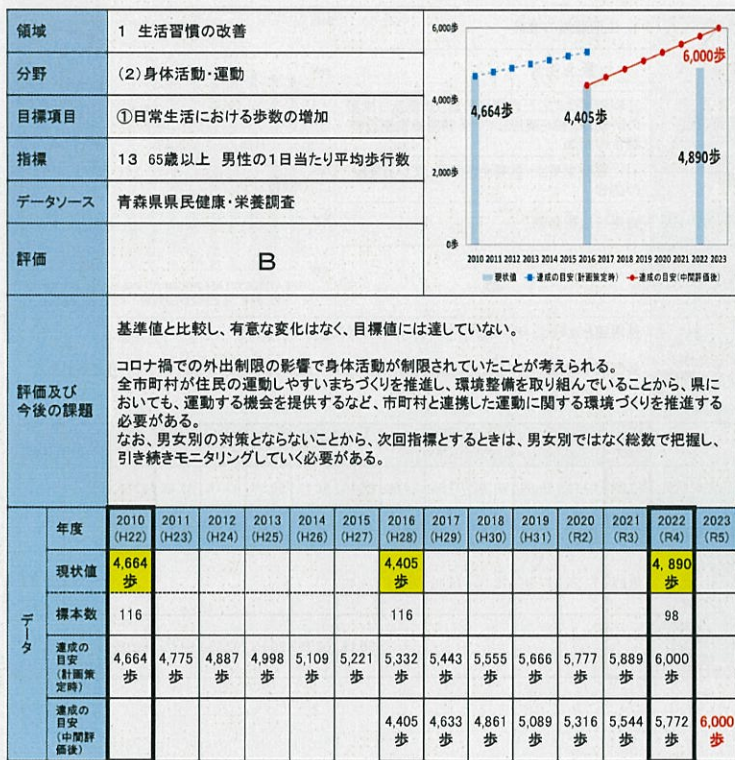
-11-

領域	1 生活習慣の改善														
分野	(1) 栄養・食生活														
目標項目	⑥利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合の増加														
指標	10 管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合														
データソース	衛生行政報告例														
評価	B														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、年々増加しているが、目標値に達していない。</p> <p>保健所で実施している特定給食施設等巡回指導において、引き続き働きかけを行う必要がある。</p>														
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	76.8%	79.1%	79.6%	78.3%	77.3%	84.6%	86.1%	86.1%	86.5%	87.1%	87.8%	87.8%	100.0%	
	標本数	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	
	達成の目安(計画策定時)	76.8%	77.2%	77.7%	78.1%	78.5%	79.0%	79.4%							
	達成の目安(中間評価後)							86.1%	88.1%	90.1%	92.1%	94.0%	96.0%	98.0%	100.0%

-10-

領域	1 生活習慣の改善														
分野	(2) 身体活動・運動														
目標項目	①日常生活における歩数の増加														
指標	12 20～64歳 女性の1日当たりの平均歩行数														
データソース	青森県県民健康・栄養調査														
評価	D														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、有意な変化はなく、目標値には達していない。</p> <p>コロナ禍での外出制限の影響で身体活動が制限されていたことが考えられる。全市町村が住民の運動しやすいまちづくりを推進し、環境整備に取り組んでいることから、県においても、運動する機会を提供するなど、市町村と連携した運動に関する環境づくりを推進する必要がある。</p> <p>なお、男女別の対策とならないことから、次回指標とするときは、男女別ではなく総数で把握し、引き続きモニタリングしていく必要がある。</p>														
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	6,303歩						6,146歩						5,926歩	
	標本数	219						222						157	
	達成の目安(計画策定時)	6,303歩	6,444歩	6,586歩	6,727歩	6,869歩	7,010歩	7,151歩	7,293歩	7,434歩	7,576歩	7,717歩	7,859歩	8,000歩	
	達成の目安(中間評価後)							6,146歩	6,411歩	6,676歩	6,941歩	7,205歩	7,470歩	7,735歩	8,000歩

-12-



※H22, 28は「身体状況調査(問診)」、R4は「生活習慣調査(自記式)」で実施。

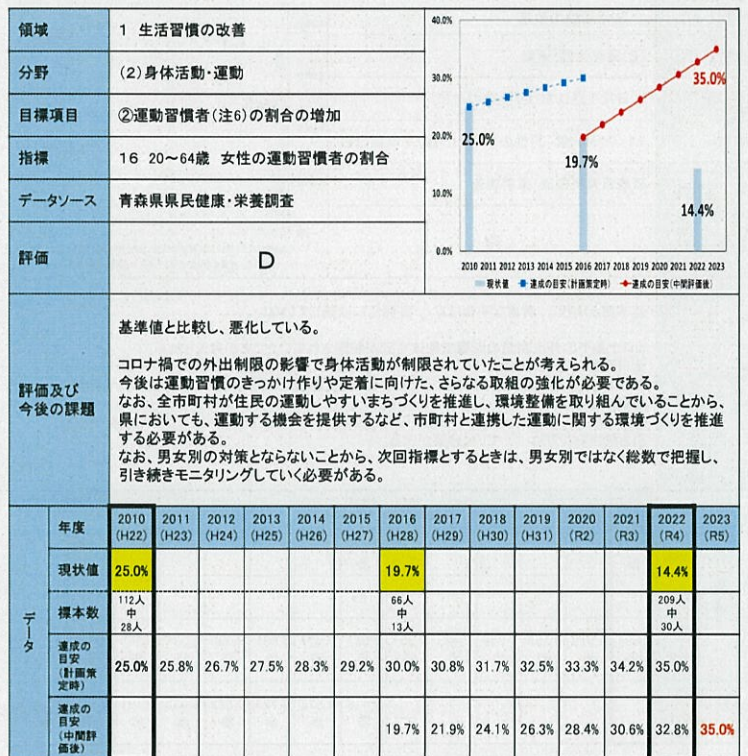
<参考>

県内医療保険者(市町村国保、協会けんぽ、各共済組合、各健保組合)の特定健康診査の間診票データの集約結果

	2016 (H28)	2020 (R2)
40～64歳 男性の運動習慣者の割合	23.5% (59,087人中13,875人)	25.4% (75,621人中19,182人)

(注6) 運動習慣者とは、継続的に次の3項目全てに該当する運動習慣がある者をいう。

- ・運動の実施頻度として、週2回以上。
- ・運動の持続時間として、30分以上。
- ・運動の継続期間として、1年以上。



※H22, 28は「身体状況調査(問診)」、 R4は「生活習慣調査(自記式)」で実施。

<参考>

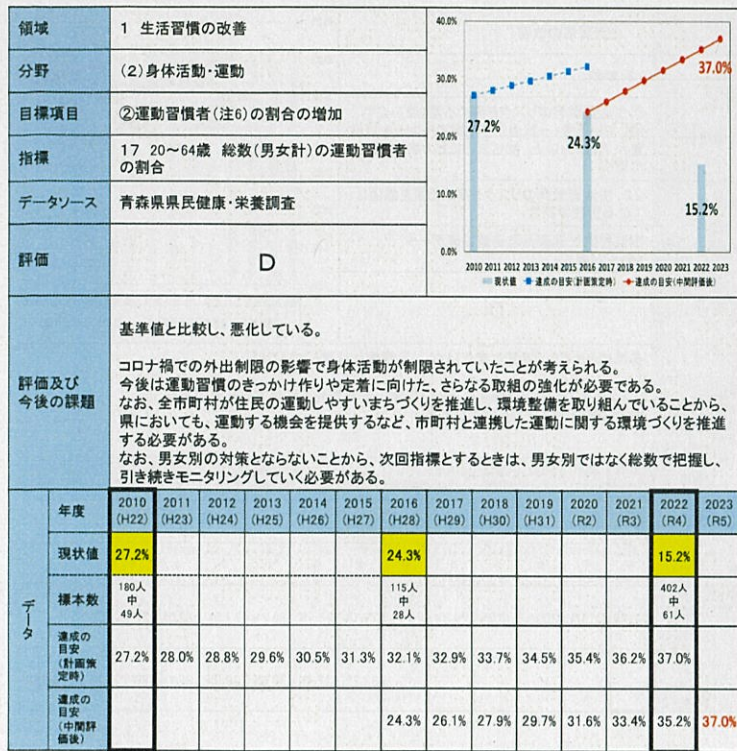
県内医療保険者(市町村国保、協会けんぽ、各共済組合、各健保組合)の特定健康診査の間診票データの集約結果

	2016 (H28)	2020 (R2)
40～64歳 女性の運動習慣者の割合	29.2% (31,745人中9,270人)	15.5% (68,764人中10,651人)

(注6) 運動習慣者とは、継続的に次の3項目全てに該当する運動習慣がある者をいう。

- ・運動の実施頻度として、週2回以上。
- ・運動の持続時間として、30分以上。
- ・運動の継続期間として、1年以上。



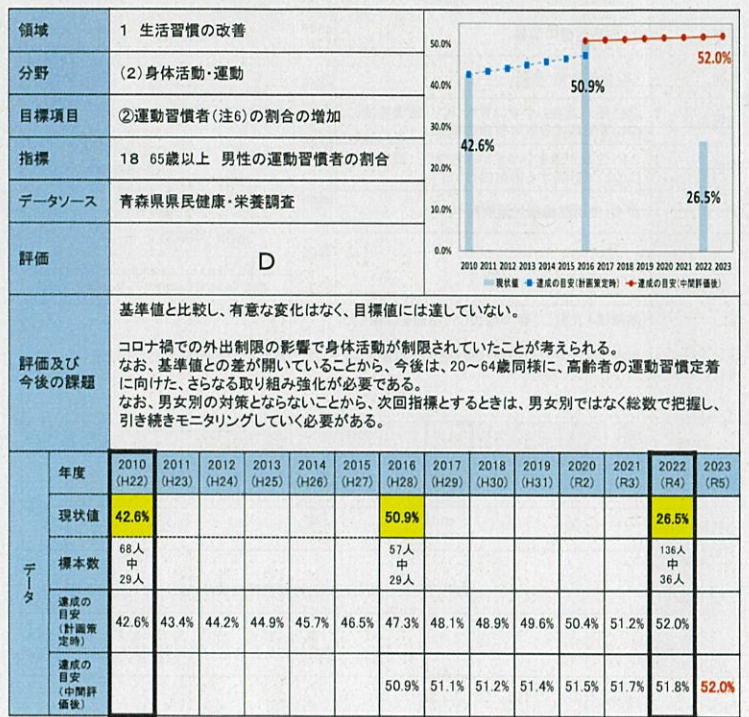


※H22, 28は「身体状況調査(問診)」、R4は「生活習慣調査(自記式)」で実施。

<参考>  
県内医療保険者(市町村国保、協会けんぽ、各共済組合、各健保組合)の特定健康診査の問診票データの集約結果

	2016 (H28)	2020 (R2)
40～64歳 男女総計の運動習慣者の割合	25.5% (90,832人中23,145人)	20.7% (144,385人中29,833人)

(注6) 運動習慣者とは、継続的に次の3項目全てに該当する運動習慣がある者をいう。  
・運動の実施頻度として、週2回以上。  
・運動の持続時間として、30分以上。  
・運動の継続期間として、1年以上。

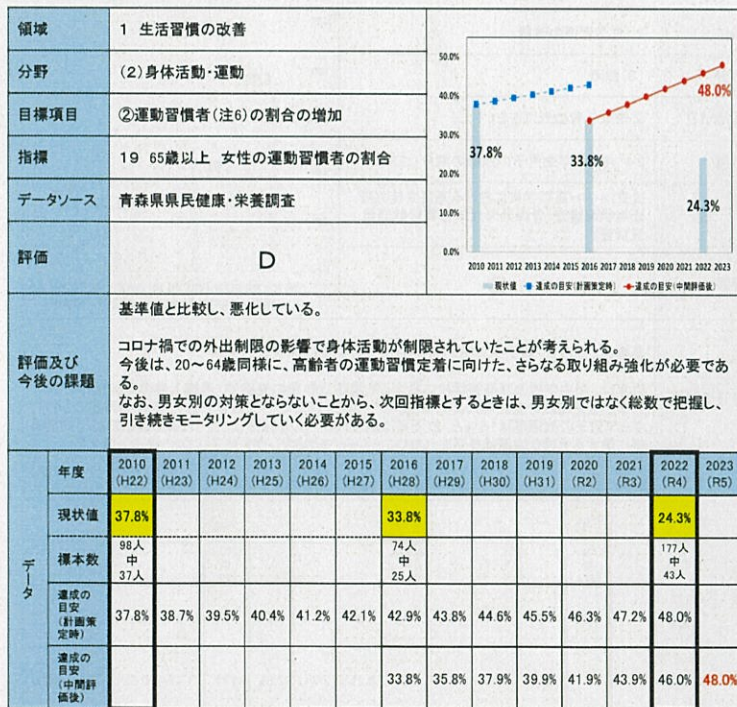


※H22, 28は「身体状況調査(問診)」、R4は「生活習慣調査(自記式)」で実施。

<参考>  
県内医療保険者(市町村国保、協会けんぽ、各共済組合、各健保組合)の特定健康診査の問診票データの集約結果

	2016 (H28)	2020 (R2)
65～74歳 男性の運動習慣者の割合	41.2% (27,716人中11,411人)	38.4% (29,913人中11,508人)

(注6) 運動習慣者とは、継続的に次の3項目全てに該当する運動習慣がある者をいう。  
・運動の実施頻度として、週2回以上。  
・運動の持続時間として、30分以上。  
・運動の継続期間として、1年以上。

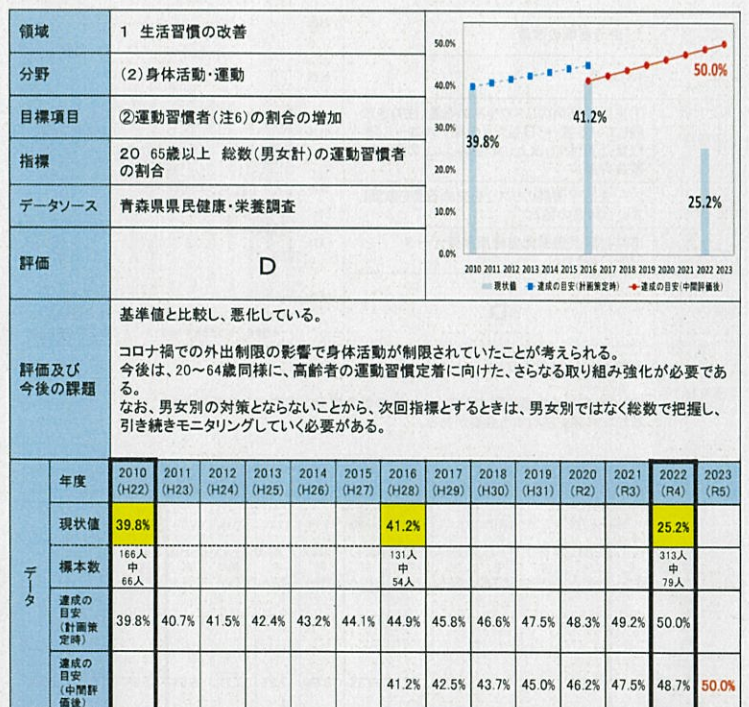


※H22, 28は「身体状況調査(問診)」、R4は「生活習慣調査(自記式)」で実施。

<参考>  
県内医療保険者(市町村国保、協会けんぽ、各共済組合、各健保組合)の特定健康診査の問診票データの集約結果

	2016 (H28)	2020 (R2)
65～74歳 女性の運動習慣者の割合	54.0% (24,245人中13,086人)	31.9% (35,479人中11,331人)

(注6) 運動習慣者とは、継続的に次の3項目全てに該当する運動習慣がある者をいう。  
・運動の実施頻度として、週2回以上。  
・運動の持続時間として、30分以上。  
・運動の継続期間として、1年以上。



※H22, 28は「身体状況調査(問診)」、R4は「生活習慣調査(自記式)」で実施。

<参考>  
県内医療保険者(市町村国保、協会けんぽ、各共済組合、各健保組合)の特定健康診査の問診票データの集約結果

	2016 (H28)	2020 (R2)
65～74歳 男女総計の運動習慣者の割合	47.1% (51,961人中24,497人)	34.9% (65,410人中22,839人)

(注6) 運動習慣者とは、継続的に次の3項目全てに該当する運動習慣がある者をいう。  
・運動の実施頻度として、週2回以上。  
・運動の持続時間として、30分以上。  
・運動の継続期間として、1年以上。

領域	1 生活習慣の改善																																																																												
分野	(2) 身体活動・運動																																																																												
目標項目	③住民が運動しやすいまちづくり・環境整備について協議する市町村数の増加																																																																												
指標	21 住民が運動しやすいまちづくり・環境整備について協議する市町村数																																																																												
データソース	がん・生活習慣病対策課調べ																																																																												
評価	A																																																																												
評価及び今後の課題	基準値と比較し、年々増加し目標値を達成した。 引き続き市町村の取組状況を把握しながら、県としての取組をすすめていく必要がある。																																																																												
データ	<table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>2010 (H22)</th> <th>2011 (H23)</th> <th>2012 (H24)</th> <th>2013 (H25)</th> <th>2014 (H26)</th> <th>2015 (H27)</th> <th>2016 (H28)</th> <th>2017 (H29)</th> <th>2018 (H30)</th> <th>2019 (H31)</th> <th>2020 (R2)</th> <th>2021 (R3)</th> <th>2022 (R4)</th> <th>2023 (R5)</th> </tr> <tr> <td>現状値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>10</td> <td>18</td> <td>27</td> <td>36</td> <td>38</td> <td>39</td> <td>40</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>標本数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>40</td> <td>40</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成の目安 (計画策定時)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>7</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>21</td> <td>26</td> <td>31</td> <td>35</td> <td>40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成の目安 (中間評価後)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>18</td> <td>22</td> <td>25</td> <td>29</td> <td>33</td> <td>36</td> <td>40</td> </tr> </table>	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	現状値					2	10	18	27	36	38	39	40			標本数					40	40							40		達成の目安 (計画策定時)					2	7	12	16	21	26	31	35	40		達成の目安 (中間評価後)							18	22	25	29	33	36	40		
年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)																																																															
現状値					2	10	18	27	36	38	39	40																																																																	
標本数					40	40							40																																																																
達成の目安 (計画策定時)					2	7	12	16	21	26	31	35	40																																																																
達成の目安 (中間評価後)							18	22	25	29	33	36	40																																																																

領域	1 生活習慣の改善																																																																													
分野	(3) 飲酒																																																																													
目標項目	①生活習慣病のリスクを高める量(注7)を飲酒している者(一日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者)の割合の減少																																																																													
指標	22 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している男性の割合																																																																													
データソース	市町村国民健康保険健康診査データ (40~74歳)																																																																													
評価	D																																																																													
評価及び今後の課題	基準値と比較し、有意な変化はなく、目標値には達していない。 リスクを高める飲酒に関する正しい知識の普及啓発を実施する必要がある。 新たな展開を検討する必要がある。																																																																													
データ	<table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>2010 (H22)</th> <th>2011 (H23)</th> <th>2012 (H24)</th> <th>2013 (H25)</th> <th>2014 (H26)</th> <th>2015 (H27)</th> <th>2016 (H28)</th> <th>2017 (H29)</th> <th>2018 (H30)</th> <th>2019 (H31)</th> <th>2020 (R2)</th> <th>2021 (R3)</th> <th>2022 (R4)</th> <th>2023 (R5)</th> </tr> <tr> <td>現状値</td> <td>31.4%</td> <td>31.4%</td> <td>31.6%</td> <td>32.3%</td> <td>32.0%</td> <td>32.4%</td> <td>32.2%</td> <td>32.0%</td> <td>31.6%</td> <td>31.9%</td> <td>31.4%</td> <td>31.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>標本数</td> <td>32,593人中 10,246人中</td> <td>34,579人中 10,854人中</td> <td>35,213人中 11,118人中</td> <td>36,583人中 11,818人中</td> <td>38,042人中 12,189人中</td> <td>38,781人中 12,576人中</td> <td>38,072人中 12,266人中</td> <td>36,906人中 11,805人中</td> <td>35,384人中 11,249人中</td> <td>35,213人中 11,775人中</td> <td>30,967人中 9,739人中</td> <td>35,213人中 11,249人中</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成の目安 (計画策定時)</td> <td>31.4%</td> <td>31.0%</td> <td>30.6%</td> <td>30.2%</td> <td>29.8%</td> <td>29.4%</td> <td>29.1%</td> <td>28.7%</td> <td>28.3%</td> <td>27.9%</td> <td>27.5%</td> <td>27.1%</td> <td>26.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成の目安 (中間評価後)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>32.2%</td> <td>31.4%</td> <td>30.6%</td> <td>29.8%</td> <td>29.1%</td> <td>28.3%</td> <td>27.5%</td> <td>26.7%</td> </tr> </table>	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	現状値	31.4%	31.4%	31.6%	32.3%	32.0%	32.4%	32.2%	32.0%	31.6%	31.9%	31.4%	31.0%			標本数	32,593人中 10,246人中	34,579人中 10,854人中	35,213人中 11,118人中	36,583人中 11,818人中	38,042人中 12,189人中	38,781人中 12,576人中	38,072人中 12,266人中	36,906人中 11,805人中	35,384人中 11,249人中	35,213人中 11,775人中	30,967人中 9,739人中	35,213人中 11,249人中			達成の目安 (計画策定時)	31.4%	31.0%	30.6%	30.2%	29.8%	29.4%	29.1%	28.7%	28.3%	27.9%	27.5%	27.1%	26.7%		達成の目安 (中間評価後)							32.2%	31.4%	30.6%	29.8%	29.1%	28.3%	27.5%	26.7%		
年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)																																																																
現状値	31.4%	31.4%	31.6%	32.3%	32.0%	32.4%	32.2%	32.0%	31.6%	31.9%	31.4%	31.0%																																																																		
標本数	32,593人中 10,246人中	34,579人中 10,854人中	35,213人中 11,118人中	36,583人中 11,818人中	38,042人中 12,189人中	38,781人中 12,576人中	38,072人中 12,266人中	36,906人中 11,805人中	35,384人中 11,249人中	35,213人中 11,775人中	30,967人中 9,739人中	35,213人中 11,249人中																																																																		
達成の目安 (計画策定時)	31.4%	31.0%	30.6%	30.2%	29.8%	29.4%	29.1%	28.7%	28.3%	27.9%	27.5%	27.1%	26.7%																																																																	
達成の目安 (中間評価後)							32.2%	31.4%	30.6%	29.8%	29.1%	28.3%	27.5%	26.7%																																																																

<参考> 実施市町村

	2014(H26)	2016(H28)	2017(H29)	2022(R4)
東青圏域	なし	なし	今別町	青森市 平内町 今別町、蓬田村 外ヶ浜町
中南圏域	なし	弘前市 黒石市	弘前市 黒石市 西目屋村 板柳町	弘前市 黒石市 平川市 西目屋村 藤崎町 板柳町 田舎館村
三八圏域	五戸町 階上町	五戸町 階上町 南部町	五戸町 階上町 南部町 三戸町	八戸市 三戸町 五戸町 田子町 南部町 階上町 新郷村
西北圏域	なし	五所川原市 中泊町	五所川原市 つがる市 中泊町 鶴田町	五所川原市 つがる市 鯉ヶ沢町 深浦町 鶴田町 中泊町
上北圏域	なし	十和田市 野辺地町 横浜町	十和田市 野辺地町 横浜町 六ヶ所村	十和田市 三沢市 野辺地町 七戸町 六戸町 横浜町 東北町 六ヶ所村 おいらせ町
下北圏域	なし	なし	なし	むつ市 大間町 東通村 風間浦村 佐井村

(注7) 生活習慣病のリスクを高める飲酒量は、純アルコール量に換算すると男性は1日平均40g以上、女性は1日平均20g以上である。  
純アルコール約20gの目安は以下のとおり。

ビール	日本酒	ワイン	焼酎(25度)
中瓶1本(500ml)	1合(180ml)	180ml	110ml

領域	1 生活習慣の改善																																																																												
分野	(3) 飲酒																																																																												
目標項目	①生活習慣病のリスクを高める量(注7)を飲酒している者(一日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者)の割合の減少																																																																												
指標	23 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している女性の割合																																																																												
データソース	市町村国民健康保険健康診査データ (40~74歳)																																																																												
評価	D																																																																												
評価及び今後の課題	基準値と比較し、悪化した。 リスクを高める飲酒に関する正しい知識の普及啓発を実施する必要がある。 新たな展開を検討する必要がある。																																																																												
データ	<table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>2010 (H22)</th> <th>2011 (H23)</th> <th>2012 (H24)</th> <th>2013 (H25)</th> <th>2014 (H26)</th> <th>2015 (H27)</th> <th>2016 (H28)</th> <th>2017 (H29)</th> <th>2018 (H30)</th> <th>2019 (H31)</th> <th>2020 (R2)</th> <th>2021 (R3)</th> <th>2022 (R4)</th> <th>2023 (R5)</th> </tr> <tr> <td>現状値</td> <td>16.9%</td> <td>17.0%</td> <td>17.1%</td> <td>17.9%</td> <td>18.4%</td> <td>19.4%</td> <td>19.3%</td> <td>19.7%</td> <td>19.8%</td> <td>20.1%</td> <td>20.5%</td> <td>20.9%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>標本数</td> <td>38,509人中 6,498人中</td> <td>40,033人中 6,943人中</td> <td>40,590人中 6,943人中</td> <td>41,675人中 7,470人中</td> <td>42,773人中 7,871人中</td> <td>42,955人中 8,331人中</td> <td>41,722人中 8,073人中</td> <td>40,488人中 7,968人中</td> <td>37,799人中 7,503人中</td> <td>37,859人中 7,610人中</td> <td>31,991人中 6,556人中</td> <td>37,859人中 7,610人中</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成の目安 (計画策定時)</td> <td>16.9%</td> <td>16.7%</td> <td>16.5%</td> <td>16.3%</td> <td>16.1%</td> <td>15.9%</td> <td>15.7%</td> <td>15.4%</td> <td>15.2%</td> <td>15.0%</td> <td>14.8%</td> <td>14.6%</td> <td>14.4%</td> </tr> <tr> <td>達成の目安 (中間評価後)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>19.3%</td> <td>18.6%</td> <td>17.9%</td> <td>17.2%</td> <td>16.5%</td> <td>15.8%</td> <td>15.1%</td> <td>14.4%</td> </tr> </table>	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	現状値	16.9%	17.0%	17.1%	17.9%	18.4%	19.4%	19.3%	19.7%	19.8%	20.1%	20.5%	20.9%			標本数	38,509人中 6,498人中	40,033人中 6,943人中	40,590人中 6,943人中	41,675人中 7,470人中	42,773人中 7,871人中	42,955人中 8,331人中	41,722人中 8,073人中	40,488人中 7,968人中	37,799人中 7,503人中	37,859人中 7,610人中	31,991人中 6,556人中	37,859人中 7,610人中			達成の目安 (計画策定時)	16.9%	16.7%	16.5%	16.3%	16.1%	15.9%	15.7%	15.4%	15.2%	15.0%	14.8%	14.6%	14.4%	達成の目安 (中間評価後)							19.3%	18.6%	17.9%	17.2%	16.5%	15.8%	15.1%	14.4%		
年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)																																																															
現状値	16.9%	17.0%	17.1%	17.9%	18.4%	19.4%	19.3%	19.7%	19.8%	20.1%	20.5%	20.9%																																																																	
標本数	38,509人中 6,498人中	40,033人中 6,943人中	40,590人中 6,943人中	41,675人中 7,470人中	42,773人中 7,871人中	42,955人中 8,331人中	41,722人中 8,073人中	40,488人中 7,968人中	37,799人中 7,503人中	37,859人中 7,610人中	31,991人中 6,556人中	37,859人中 7,610人中																																																																	
達成の目安 (計画策定時)	16.9%	16.7%	16.5%	16.3%	16.1%	15.9%	15.7%	15.4%	15.2%	15.0%	14.8%	14.6%	14.4%																																																																
達成の目安 (中間評価後)							19.3%	18.6%	17.9%	17.2%	16.5%	15.8%	15.1%	14.4%																																																															

領域	1 生活習慣の改善																																																																											
分野	(3) 飲酒																																																																											
目標項目	②未成年者の飲酒をなくす																																																																											
指標	24 中学3年生男子の飲酒の割合(注8)																																																																											
データソース	公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査(青森県未成年者喫煙飲酒状況調査)																																																																											
評価	B																																																																											
評価及び今後の課題	基準値と比較し、減少し改善傾向にあるが、目標値には達していない。 近年は、小中学校及び高等学校における飲酒防止教育の充実や、酒購入時の年齢確認の導入など販売環境の変化等により、未成年者の飲酒率の低下は顕著であり、本県の調査でも中学3年生男子の飲酒率は1.5%と、飲酒率は例外的レベルを推移しており、今後も指標としての評価に値する大幅な増減は見込まれないことから、モニタリングを終了してよいものと考え。																																																																											
データ	<table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>2010 (H22)</th> <th>2011 (H23)</th> <th>2012 (H24)</th> <th>2013 (H25)</th> <th>2014 (H26)</th> <th>2015 (H27)</th> <th>2016 (H28)</th> <th>2017 (H29)</th> <th>2018 (H30)</th> <th>2019 (H31)</th> <th>2020 (R2)</th> <th>2021 (R3)</th> <th>2022 (R4)</th> <th>2023 (R5)</th> </tr> <tr> <td>現状値</td> <td>6.9%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3.6%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.5%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>標本数</td> <td>2,628人中 182人中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2,140人中 78人中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1,573人中 24人中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成の目安 (計画策定時)</td> <td>6.9%</td> <td>6.3%</td> <td>5.6%</td> <td>5.0%</td> <td>4.4%</td> <td>3.8%</td> <td>3.1%</td> <td>2.5%</td> <td>1.9%</td> <td>1.3%</td> <td>0.6%</td> <td>0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成の目安 (中間評価後)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3.6%</td> <td>3.2%</td> <td>2.7%</td> <td>2.3%</td> <td>1.8%</td> <td>1.4%</td> <td>0.9%</td> <td>0.5%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	現状値	6.9%					3.6%				1.5%					標本数	2,628人中 182人中					2,140人中 78人中				1,573人中 24人中					達成の目安 (計画策定時)	6.9%	6.3%	5.6%	5.0%	4.4%	3.8%	3.1%	2.5%	1.9%	1.3%	0.6%	0%		達成の目安 (中間評価後)					3.6%	3.2%	2.7%	2.3%	1.8%	1.4%	0.9%	0.5%	0%		
年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)																																																														
現状値	6.9%					3.6%				1.5%																																																																		
標本数	2,628人中 182人中					2,140人中 78人中				1,573人中 24人中																																																																		
達成の目安 (計画策定時)	6.9%	6.3%	5.6%	5.0%	4.4%	3.8%	3.1%	2.5%	1.9%	1.3%	0.6%	0%																																																																
達成の目安 (中間評価後)					3.6%	3.2%	2.7%	2.3%	1.8%	1.4%	0.9%	0.5%	0%																																																															

(注7) 生活習慣病のリスクを高める飲酒量は、純アルコール量に換算すると男性は1日平均40g以上、女性は1日平均20g以上である。  
純アルコール約20gの目安は以下のとおり。

ビール	日本酒	ワイン	焼酎(25度)
中瓶1本(500ml)	1合(180ml)	180ml	110ml

(注8) 未成年者の飲酒の割合は、公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査において、飲酒状況に関する質問に対し「現在も飲んでいる」を選択した者の割合をいう。  
※回答の選択肢「飲んだことがない」「今は飲まない」「現在も飲んでいる」

領域	1 生活習慣の改善																																																																												
分野	(3) 飲酒																																																																												
目標項目	②未成年者の飲酒をなくす																																																																												
指標	25 中学3年生女子の飲酒の割合(注8)																																																																												
データソース	公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査(青森県未成年者喫煙状況調査)																																																																												
評価	B																																																																												
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、減少し改善傾向にあるが、目標値には達していない。</p> <p>近年は、小中学校及び高等学校における飲酒防止教育の充実や、酒購入時の年齢確認の導入など販売環境の変化等により、未成年者の飲酒率の低下は顕著であり、本県の調査でも中学3年生女子の飲酒率は2.0%と、飲酒者は例外的レベルを推移しており、今後も指標としての評価に値する大幅な増減は見込まれないことから、モニタリングを終了してよいものと考え。</p>																																																																												
データ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>2010 (H22)</th> <th>2011 (H23)</th> <th>2012 (H24)</th> <th>2013 (H25)</th> <th>2014 (H26)</th> <th>2015 (H27)</th> <th>2016 (H28)</th> <th>2017 (H29)</th> <th>2018 (H30)</th> <th>2019 (H31)</th> <th>2020 (R2)</th> <th>2021 (R3)</th> <th>2022 (R4)</th> <th>2023 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現状値</td> <td></td> <td>9.5%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4.2%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>標本数</td> <td></td> <td>2,401人中 229人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2,106人中 88人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1,523人中 30人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成の目安(計画策定時)</td> <td></td> <td>9.5%</td> <td>8.6%</td> <td>7.8%</td> <td>6.9%</td> <td>6.0%</td> <td>5.2%</td> <td>4.3%</td> <td>3.5%</td> <td>2.6%</td> <td>1.7%</td> <td>0.9%</td> <td>0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成の目安(中間評価後)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.2%</td> <td>3.7%</td> <td>3.2%</td> <td>2.6%</td> <td>2.1%</td> <td>1.6%</td> <td>1.1%</td> <td>0.5%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	現状値		9.5%	—	—	—	4.2%				2.0%					標本数		2,401人中 229人	—	—	—	2,106人中 88人				1,523人中 30人					達成の目安(計画策定時)		9.5%	8.6%	7.8%	6.9%	6.0%	5.2%	4.3%	3.5%	2.6%	1.7%	0.9%	0%		達成の目安(中間評価後)						4.2%	3.7%	3.2%	2.6%	2.1%	1.6%	1.1%	0.5%	0%
年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)																																																															
現状値		9.5%	—	—	—	4.2%				2.0%																																																																			
標本数		2,401人中 229人	—	—	—	2,106人中 88人				1,523人中 30人																																																																			
達成の目安(計画策定時)		9.5%	8.6%	7.8%	6.9%	6.0%	5.2%	4.3%	3.5%	2.6%	1.7%	0.9%	0%																																																																
達成の目安(中間評価後)						4.2%	3.7%	3.2%	2.6%	2.1%	1.6%	1.1%	0.5%	0%																																																															

領域	1 生活習慣の改善																																																																												
分野	(3) 飲酒																																																																												
目標項目	②未成年者の飲酒をなくす																																																																												
指標	26 高校3年生男子の飲酒の割合(注8)																																																																												
データソース	公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査(青森県未成年者喫煙状況調査)																																																																												
評価	B																																																																												
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、減少し、改善傾向にあるが、目標値には達していない。</p> <p>近年は、小中学校及び高等学校における飲酒防止教育の充実や、酒購入時の年齢確認の導入など販売環境の変化等により、未成年者の飲酒率の低下は顕著であり、本県の調査でも高校3年生男子の飲酒率は4.5%と、飲酒者は例外的レベルを推移しており、今後も指標としての評価に値する大幅な増減は見込まれないことから、モニタリングを終了してよいものと考え。</p>																																																																												
データ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>2010 (H22)</th> <th>2011 (H23)</th> <th>2012 (H24)</th> <th>2013 (H25)</th> <th>2014 (H26)</th> <th>2015 (H27)</th> <th>2016 (H28)</th> <th>2017 (H29)</th> <th>2018 (H30)</th> <th>2019 (H31)</th> <th>2020 (R2)</th> <th>2021 (R3)</th> <th>2022 (R4)</th> <th>2023 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現状値</td> <td></td> <td>15.5%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>7.2%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.5%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>標本数</td> <td></td> <td>1,497人中 232人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1,599人中 115人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1,184人中 53人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成の目安(計画策定時)</td> <td></td> <td>15.5%</td> <td>14.1%</td> <td>12.7%</td> <td>11.3%</td> <td>9.9%</td> <td>8.5%</td> <td>7.0%</td> <td>5.6%</td> <td>4.2%</td> <td>2.8%</td> <td>1.4%</td> <td>0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成の目安(中間評価後)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>7.2%</td> <td>6.3%</td> <td>5.4%</td> <td>4.5%</td> <td>3.6%</td> <td>2.7%</td> <td>1.8%</td> <td>0.9%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	現状値		15.5%	—	—	—	7.2%				4.5%					標本数		1,497人中 232人	—	—	—	1,599人中 115人				1,184人中 53人					達成の目安(計画策定時)		15.5%	14.1%	12.7%	11.3%	9.9%	8.5%	7.0%	5.6%	4.2%	2.8%	1.4%	0%		達成の目安(中間評価後)						7.2%	6.3%	5.4%	4.5%	3.6%	2.7%	1.8%	0.9%	0%
年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)																																																															
現状値		15.5%	—	—	—	7.2%				4.5%																																																																			
標本数		1,497人中 232人	—	—	—	1,599人中 115人				1,184人中 53人																																																																			
達成の目安(計画策定時)		15.5%	14.1%	12.7%	11.3%	9.9%	8.5%	7.0%	5.6%	4.2%	2.8%	1.4%	0%																																																																
達成の目安(中間評価後)						7.2%	6.3%	5.4%	4.5%	3.6%	2.7%	1.8%	0.9%	0%																																																															

(注8) 未成年者の飲酒の割合は、公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査において、飲酒状況に関する質問に対し「現在も飲んでいる」を選択した者の割合をいう。  
※回答の選択肢「飲んだことがない」「今は飲まない」「現在も飲んでいる」

(注8) 未成年者の飲酒の割合は、公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査において、飲酒状況に関する質問に対し「現在も飲んでいる」を選択した者の割合をいう。  
※回答の選択肢「飲んだことがない」「今は飲まない」「現在も飲んでいる」

領域	1 生活習慣の改善																																																																												
分野	(3) 飲酒																																																																												
目標項目	②未成年者の飲酒をなくす																																																																												
指標	27 高校3年生女子の飲酒の割合(注8)																																																																												
データソース	公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査(青森県未成年者喫煙状況調査)																																																																												
評価	B																																																																												
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、減少し、改善傾向にあるが、目標値には達していない。</p> <p>近年は、小中学校及び高等学校における飲酒防止教育の充実や、酒購入時の年齢確認の導入など販売環境の変化等により、未成年者の飲酒率の低下は顕著であり、本県の調査でも高校3年生女子の飲酒率は4.7%と、飲酒者は例外的レベルを推移しており、今後も指標としての評価に値する大幅な増減は見込まれないことから、モニタリングを終了してよいものと考え。</p>																																																																												
データ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>2010 (H22)</th> <th>2011 (H23)</th> <th>2012 (H24)</th> <th>2013 (H25)</th> <th>2014 (H26)</th> <th>2015 (H27)</th> <th>2016 (H28)</th> <th>2017 (H29)</th> <th>2018 (H30)</th> <th>2019 (H31)</th> <th>2020 (R2)</th> <th>2021 (R3)</th> <th>2022 (R4)</th> <th>2023 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現状値</td> <td></td> <td>13.7%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>6.7%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.7%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>標本数</td> <td></td> <td>1,497人中 205人</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1,730人中 116人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1,202人中 57人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成の目安(計画策定時)</td> <td></td> <td>13.7%</td> <td>12.5%</td> <td>11.2%</td> <td>10.0%</td> <td>8.7%</td> <td>7.5%</td> <td>6.2%</td> <td>5.0%</td> <td>3.7%</td> <td>2.5%</td> <td>1.2%</td> <td>0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成の目安(中間評価後)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6.7%</td> <td>5.9%</td> <td>5.0%</td> <td>4.2%</td> <td>3.4%</td> <td>2.5%</td> <td>1.7%</td> <td>0.8%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	現状値		13.7%	—	—	—	6.7%				4.7%					標本数		1,497人中 205人	—	—	—	1,730人中 116人				1,202人中 57人					達成の目安(計画策定時)		13.7%	12.5%	11.2%	10.0%	8.7%	7.5%	6.2%	5.0%	3.7%	2.5%	1.2%	0%		達成の目安(中間評価後)						6.7%	5.9%	5.0%	4.2%	3.4%	2.5%	1.7%	0.8%	0%
年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)																																																															
現状値		13.7%	—	—	—	6.7%				4.7%																																																																			
標本数		1,497人中 205人	—	—	—	1,730人中 116人				1,202人中 57人																																																																			
達成の目安(計画策定時)		13.7%	12.5%	11.2%	10.0%	8.7%	7.5%	6.2%	5.0%	3.7%	2.5%	1.2%	0%																																																																
達成の目安(中間評価後)						6.7%	5.9%	5.0%	4.2%	3.4%	2.5%	1.7%	0.8%	0%																																																															

領域	1 生活習慣の改善																																																																												
分野	(3) 飲酒																																																																												
目標項目	③妊娠中の飲酒をなくす																																																																												
指標	28 妊婦の飲酒の割合(注9)																																																																												
データソース	青森県妊婦連絡票																																																																												
評価	B																																																																												
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し減少し、改善傾向にあるが、目標値には達していない。</p> <p>市町村や産科医療機関による丁寧な保健指導の継続と、引き続きモニタリングをし、経過観察していくことが必要と考える。</p>																																																																												
データ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>2010 (H22)</th> <th>2011 (H23)</th> <th>2012 (H24)</th> <th>2013 (H25)</th> <th>2014 (H26)</th> <th>2015 (H27)</th> <th>2016 (H28)</th> <th>2017 (H29)</th> <th>2018 (H30)</th> <th>2019 (H31)</th> <th>2020 (R2)</th> <th>2021 (R3)</th> <th>2022 (R4)</th> <th>2023 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現状値</td> <td></td> <td>8.3%</td> <td>5.7%</td> <td>4.3%</td> <td>3.3%</td> <td>3.6%</td> <td>2.6%</td> <td>2.4%</td> <td>2.3%</td> <td>1.8%</td> <td>1.6%</td> <td>1.0%</td> <td>0.9%</td> <td>0.9%</td> </tr> <tr> <td>標本数</td> <td></td> <td>9,468人中 782人</td> <td>9,257人中 529人</td> <td>9,223人中 392人</td> <td>9,186人中 302人</td> <td>8,612人中 311人</td> <td>8,771人中 232人</td> <td>8,093人中 191人</td> <td>7,911人中 180人</td> <td>7,331人中 189人</td> <td>7,020人中 109人</td> <td>6,614人中 119人</td> <td>6,039人中 53人</td> <td>5,847人中 51人</td> </tr> <tr> <td>達成の目安(計画策定時)</td> <td></td> <td>8.3%</td> <td>7.6%</td> <td>6.9%</td> <td>6.2%</td> <td>5.5%</td> <td>4.8%</td> <td>4.2%</td> <td>3.5%</td> <td>2.8%</td> <td>2.1%</td> <td>1.4%</td> <td>0.7%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>達成の目安(中間評価後)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.3%</td> <td>1.9%</td> <td>1.5%</td> <td>1.2%</td> <td>0.8%</td> <td>0.4%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	現状値		8.3%	5.7%	4.3%	3.3%	3.6%	2.6%	2.4%	2.3%	1.8%	1.6%	1.0%	0.9%	0.9%	標本数		9,468人中 782人	9,257人中 529人	9,223人中 392人	9,186人中 302人	8,612人中 311人	8,771人中 232人	8,093人中 191人	7,911人中 180人	7,331人中 189人	7,020人中 109人	6,614人中 119人	6,039人中 53人	5,847人中 51人	達成の目安(計画策定時)		8.3%	7.6%	6.9%	6.2%	5.5%	4.8%	4.2%	3.5%	2.8%	2.1%	1.4%	0.7%	0%	達成の目安(中間評価後)									2.3%	1.9%	1.5%	1.2%	0.8%	0.4%
年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)																																																															
現状値		8.3%	5.7%	4.3%	3.3%	3.6%	2.6%	2.4%	2.3%	1.8%	1.6%	1.0%	0.9%	0.9%																																																															
標本数		9,468人中 782人	9,257人中 529人	9,223人中 392人	9,186人中 302人	8,612人中 311人	8,771人中 232人	8,093人中 191人	7,911人中 180人	7,331人中 189人	7,020人中 109人	6,614人中 119人	6,039人中 53人	5,847人中 51人																																																															
達成の目安(計画策定時)		8.3%	7.6%	6.9%	6.2%	5.5%	4.8%	4.2%	3.5%	2.8%	2.1%	1.4%	0.7%	0%																																																															
達成の目安(中間評価後)									2.3%	1.9%	1.5%	1.2%	0.8%	0.4%																																																															

(注8) 未成年者の飲酒の割合は、公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査において、飲酒状況に関する質問に対し「現在も飲んでいる」を選択した者の割合をいう。  
※回答の選択肢「飲んだことがない」「今は飲まない」「現在も飲んでいる」

(注9) 妊婦の飲酒の割合は、青森県妊婦連絡票において、アルコール類に関する質問に対し「時々飲む」「ほぼ毎日飲む」と回答した者の割合をいう。

領域	1 生活習慣の改善														
分野	(4) 喫煙														
目標項目	①成人の喫煙率の減少														
指標	29 成人男性の喫煙率														
データソース	青森県県民健康・栄養調査														
評価	B														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、目標値には達していない。</p> <p>喫煙率は低下してきているものの、本県は全国と比較して高い状況が続いていることから、県民に対して、県の現状及び喫煙による健康への影響についてさらなる普及啓発していく必要がある。</p> <p>男女別の対策とならないことから、次回指標とするときは、男女別ではなく総数で把握し、引き続きモニタリングしていく必要がある。</p>														
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	36.1%						34.9%						35.4%	
	標本数	335人中 121人						418人中 146人						342人中 121人	
	達成の目安 (計画策定時)	36.1%	35.0%	33.9%	32.8%	31.7%	30.6%	29.6%	28.5%	27.4%	26.3%	25.2%	24.1%	23.0%以下	
	達成の目安 (中間評価後)							34.9%	33.2%	31.5%	29.8%	28.1%	26.4%	24.7%	23.0%以下

領域	1 生活習慣の改善														
分野	(4) 喫煙														
目標項目	①成人の喫煙率の減少														
指標	30 成人女性の喫煙率														
データソース	青森県県民健康・栄養調査														
評価	D														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、悪化した。</p> <p>喫煙率は低下してきているものの、本県は全国と比較して高い状況が続いていることから、県民に対して、県の現状及び喫煙による健康への影響についてさらなる普及啓発していく必要がある。</p> <p>男女別の対策とならないことから、次回指標とするときは、男女別ではなく総数で把握し、引き続きモニタリングしていく必要がある。</p>														
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	7.9%						11.5%						12.0%	
	標本数	419人中 33人						469人中 54人						401人中 46人	
	達成の目安 (計画策定時)	7.9%	7.7%	7.4%	7.2%	6.9%	6.7%	6.5%	6.2%	6.0%	5.7%	5.5%	5.2%	5.0%以下	
	達成の目安 (中間評価後)							11.5%	10.6%	9.6%	8.7%	7.8%	6.9%	5.9%	5.0%以下

<参考1>  
県内医療保険者(市町村国保、協会けんぽ、各共済組合、各健保組合)の特定健康診査の間診票データの集約結果

	2016(H28)	2020(R2)
40~74歳 男性の喫煙率	37.6% (113,203人中42,537人)	36.9% (117,556人中43,381人)

<参考2>  
国民生活基礎調査の結果(20歳以上)

	2010(H22)	2016(H28)	2020(R2)
38.6% (497千人中192千人)	40.3% (477千人中192千人)	31.7% (479千人中152千人)	

<参考1>  
県内医療保険者(市町村国保、協会けんぽ、各共済組合、各健保組合)の特定健康診査の間診票データの集約結果

	2016(H28)	2020(R2)
40~74歳 女性の喫煙率	11.4% (112,749人中12,808人)	11.6% (119,238人中13,840人)

<参考2>  
国民生活基礎調査の結果(20歳以上)

	2010(H22)	2016(H28)	2022(R4)
12.7% (575千人中73千人)	14.3% (579千人中83千人)	9.9% (524千人中52千人)	

領域	1 生活習慣の改善														
分野	(4) 喫煙														
目標項目	②未成年者の喫煙をなくす														
指標	31 中学1年生男子の喫煙の割合(注10)														
データソース	公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査(青森県未成年者喫煙状況調査)														
評価	B														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、目標値には達していない。</p> <p>近年は、小中学校及び高等学校における喫煙防止教育の充実や、たばこ購入時の年齢確認の導入など販売環境の変化等により、未成年者の喫煙率の低下は顕著であり、本県の調査でも各学年の喫煙率は1%未満と、喫煙者は例外的レベルを推移しており、今後も指標としての評価に値する大幅な増減は見込まれないことから、モニタリングを終了してよいものとする。</p>														
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値		0.4%					0.2%				0.2%			
	標本数		2,449人中 9人					2,076人中 4人				1,516人中 3人			
	達成の目安 (計画策定時)		0.4%	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0%	
	達成の目安 (中間評価後)							0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0%

領域	1 生活習慣の改善														
分野	(4) 喫煙														
目標項目	②未成年者の喫煙をなくす														
指標	32 中学1年生女子の喫煙の割合(注10)														
データソース	公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査(青森県未成年者喫煙状況調査)														
評価	A														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、減少し、目標値を達成した。</p> <p>近年は、小中学校及び高等学校における喫煙防止教育の充実や、たばこ購入時の年齢確認の導入など販売環境の変化等により、未成年者の喫煙率の低下は顕著であり、本県の調査でも各学年の喫煙率は1%未満と、喫煙者は例外的レベルを推移しており、今後も指標としての評価に値する大幅な増減は見込まれないことから、モニタリングを終了してよいものとする。</p>														
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値		0.2%					0.2%				0.0%			
	標本数		2,496人中 4人					2,052人中 4人				1,509人中 0人			
	達成の目安 (計画策定時)		0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0%	
	達成の目安 (中間評価後)							0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0%

(注10) 未成年者の喫煙の割合は、公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査において、喫煙状況に関する質問に対し「現在も吸っている」を選択した者の割合をいう。  
※回答の選択肢「吸ったことはない」「今は吸っていない」「現在も吸っている」

(注10) 未成年者の喫煙の割合は、公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査において、喫煙状況に関する質問に対し「現在も吸っている」を選択した者の割合をいう。  
※回答の選択肢「吸ったことはない」「今は吸っていない」「現在も吸っている」

領域	1 生活習慣の改善														
分野	(4)喫煙														
目標項目	②未成年者の喫煙をなくす														
指標	33 高校3年生男子の喫煙の割合(注10)														
データソース	公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査(青森県未成年者喫煙状況調査)														
評価	B														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、減少し、改善傾向にあるが、目標値には達していない。</p> <p>近年は、小中学校及び高等学校における喫煙防止教育の充実や、たばこ購入時の年齢確認の導入など販売環境の変化等により、未成年者の喫煙率の低下は顕著であり、本県の調査でも各学年の喫煙率は1%未満と、喫煙者は例外的レベルを推移しており、今後も指標としての評価に値する大幅な増減は見込まれないことから、モニタリングを終了してよいものと考え。</p>														
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値		2.7%				1.1%				0.9%				
	標本数		1,487人中 40人				1,599人中 18人				1,189人中 11人				
	達成の目安(計画策定時)		2.7%	2.5%	2.2%	2.0%	1.7%	1.5%	1.2%	1.0%	0.7%	0.5%	0.2%	0%	
	達成の目安(中間評価後)						1.1%	1.0%	0.8%	0.7%	0.6%	0.4%	0.3%	0.1%	0%

領域	1 生活習慣の改善														
分野	(4)喫煙														
目標項目	②未成年者の喫煙をなくす														
指標	34 高校3年生女子の喫煙の割合(注10)														
データソース	公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査(青森県未成年者喫煙状況調査)														
評価	B														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、目標値には達していない。</p> <p>近年は、小中学校及び高等学校における喫煙防止教育の充実や、たばこ購入時の年齢確認の導入など販売環境の変化等により、未成年者の喫煙率の低下は顕著であり、本県の調査でも各学年の喫煙率は1%未満と、喫煙者は例外的レベルを推移しており、今後も指標としての評価に値する大幅な増減は見込まれないことから、モニタリングを終了してよいものと考え。</p>														
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値		1.1%				0.3%				0.7%				
	標本数		1,497人中 16人				1,730人中 6人				1,204人中 9人				
	達成の目安(計画策定時)		1.1%	1.0%	0.9%	0.8%	0.7%	0.6%	0.5%	0.4%	0.3%	0.2%	0.1%	0%	
	達成の目安(中間評価後)						0.3%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%	0%

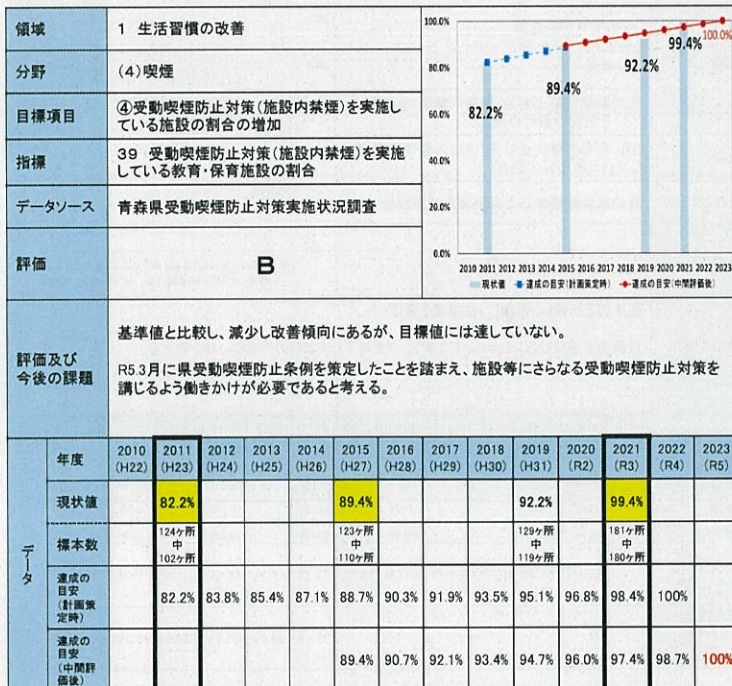
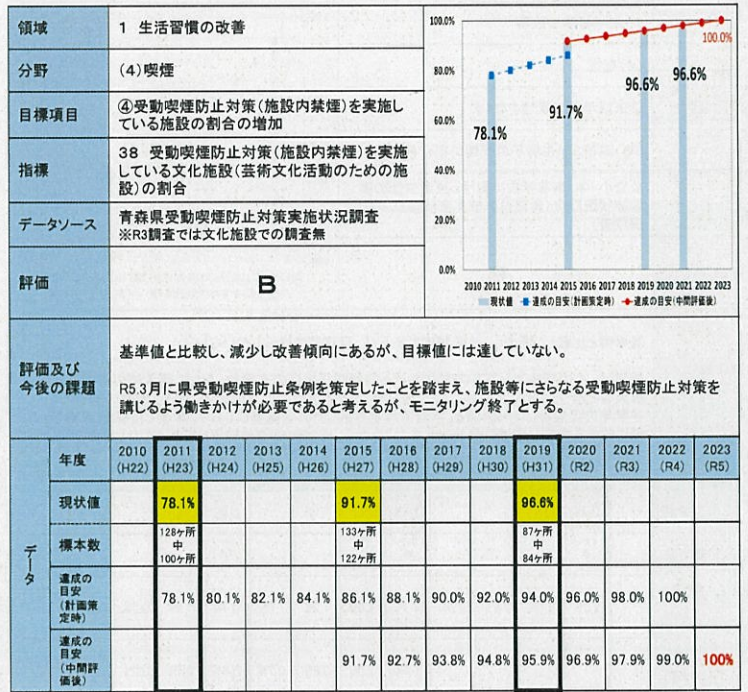
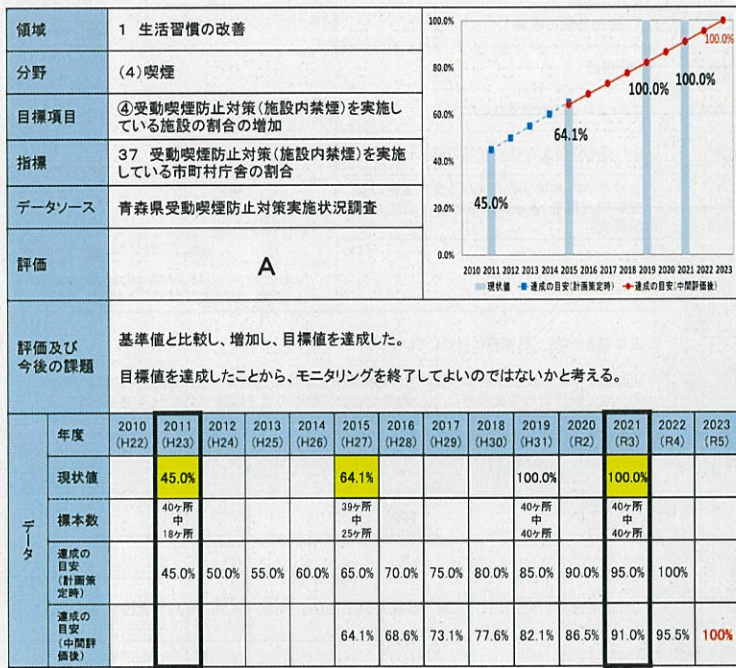
(注10) 未成年者の喫煙の割合は、公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査において、喫煙状況に関する質問に対し「現在も吸っている」を選択した者の割合をいう。  
※回答の選択肢「吸ったことはない」「今は吸っていない」「現在も吸っている」

(注10) 未成年者の喫煙の割合は、公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査において、喫煙状況に関する質問に対し「現在も吸っている」を選択した者の割合をいう。  
※回答の選択肢「吸ったことはない」「今は吸っていない」「現在も吸っている」

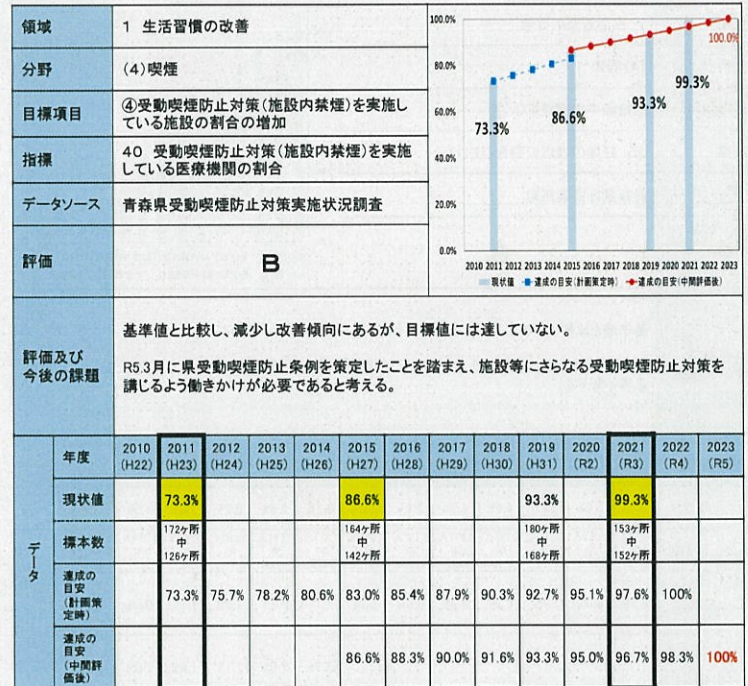
領域	1 生活習慣の改善														
分野	(4)喫煙														
目標項目	③妊娠中の喫煙をなくす														
指標	35 妊婦の喫煙の割合(注11)														
データソース	青森県妊婦連絡票														
評価	B														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し減少し、改善傾向にあるが、目標値には達していない。</p> <p>市町村や産科医療機関による丁寧な保健指導の継続と、引き続きモニタリングをしていくことが必要と考える。</p>														
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	6.5%	5.6%	5.2%	4.6%	4.3%	3.5%	2.9%	3.1%	2.6%	2.2%	1.8%	1.5%	1.6%	1.0%
	標本数	9,468人中 617人	8,257人中 518人	9,223人中 477人	9,186人中 419人	8,612人中 372人	8,771人中 307人	8,093人中 231人	7,911人中 243人	7,331人中 189人	7,020人中 157人	6,614人中 119人	6,039人中 90人	5,847人中 96人	
	達成の目安(計画策定時)	6.5%	6.0%	5.4%	4.9%	4.3%	3.8%	3.3%	2.7%	2.2%	1.6%	1.1%	0.5%	0%	
	達成の目安(中間評価後)								3.1%	2.6%	2.1%	1.6%	1.0%	0.5%	0%

領域	1 生活習慣の改善														
分野	(4)喫煙														
目標項目	④受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している施設の割合の増加														
指標	36 受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している県庁舎の割合														
データソース	青森県受動喫煙防止対策実施状況調査														
評価	A														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、増加し、目標値を達成した。</p> <p>目標値を達成したことから、モニタリングを終了してよいのではないかと考える。</p>														
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値		50.9%				83.3%		98.1%		100.0%		100.0%		
	標本数		57ヶ所 中 29ヶ所				54ヶ所 中 45ヶ所		54ヶ所 中 53ヶ所		60ヶ所 中 60ヶ所		60ヶ所 中 60ヶ所		
	達成の目安(計画策定時)		50.9%	55.4%	59.8%	64.3%	68.8%	73.2%	77.7%	82.1%	86.6%	91.1%	95.5%	100%	
	達成の目安(中間評価後)								98.1%	98.4%	98.7%	99.0%	99.4%	99.7%	100%

(注11) 妊婦の喫煙の割合は、青森県妊婦連絡票において、喫煙に関する質問に対し「有」と回答した者の割合をいう。



※H23,H27,H31は、県立高校を除いて計算している。



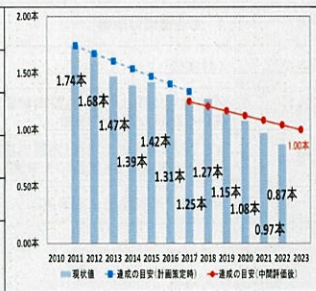
領域	1 生活習慣の改善														
分野	(4)喫煙														
目標項目	④受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している施設の割合の増加														
指標	41 受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している事業所(従業員50人以上)の割合														
データソース	青森県受動喫煙防止対策実施状況調査														
評価	B														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、減少し改善傾向にあるが、目標値には達していない。</p> <p>R5.3月に県受動喫煙防止条例を策定したことを踏まえ、施設等にさらなる受動喫煙防止対策を講じるよう働きかけが必要であると考える。</p>														
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値		17.6%				30.4%				50.0%		60.0%		
	標本数		17ヶ所 中 3ヶ所				23ヶ所 中 7ヶ所				32ヶ所 中 16ヶ所		15ヶ所 中 9ヶ所		
	達成の目安(計画策定時)		17.6%	25.1%	32.7%	40.2%	47.7%	55.3%	62.8%	70.4%	77.9%	85.4%	93.0%	100%	
	達成の目安(中間評価後)						30.4%	39.1%	47.8%	56.5%	65.2%	73.9%	82.6%	91.3%	100%

領域	1 生活習慣の改善														
分野	(4)喫煙														
目標項目	④受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している施設の割合の増加														
指標	42 受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している事業所(従業員50人未満)の割合														
データソース	青森県受動喫煙防止対策実施状況調査														
評価	B														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、減少し改善傾向にあるが、目標値には達していない。</p> <p>R5.3月に県受動喫煙防止条例を策定したことを踏まえ、施設等にさらなる受動喫煙防止対策を講じるよう働きかけが必要であると考える。</p>														
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値		27.5%				41.7%				54.1%		69.1%		
	標本数		316ヶ所 中 87ヶ所				367ヶ所 中 153ヶ所				381ヶ所 中 206ヶ所		504ヶ所 中 348ヶ所		
	達成の目安(計画策定時)		27.5%	34.1%	40.7%	47.3%	53.9%	60.5%	67.0%	73.6%	80.2%	86.8%	93.4%	100%	
	達成の目安(中間評価後)						41.7%	49.0%	56.3%	63.6%	70.9%	78.1%	85.4%	92.7%	100%

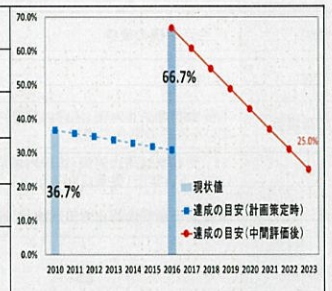
領域	1 生活習慣の改善														
分野	(5)歯・口腔の健康														
目標項目	①3歳児でう蝕のない者の割合の増加														
指標	43 3歳児でう蝕のない者の割合														
データソース	3歳児歯科健康診査														
評価	B														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、増加しており、改善傾向にあるが、目標値に達成していない。</p> <p>市町村健診におけるフッ化物歯面塗布や正しい歯磨きの普及啓発等の働きかけが必要である。</p>														
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	62.5%	65.0%	68.1%	69.6%	71.2%	71.2%	73.7%	75.4%	76.9%	79.6%	79.3%	83.7%		
	標本数	9,775人 中 6,114人	9,885人 中 6,421人	9,446人 中 6,429人	9,404人 中 6,548人	9,425人 中 6,711人	8,928人 中 6,360人	8,909人 中 6,568人	8,898人 中 6,711人	8,477人 中 6,521人	8,122人 中 6,468人	8,115人 中 6,439人	6,931人 中 5,801人		
	達成の目安(計画策定時)	62.5%	64.8%	67.1%	69.4%	71.7%	74.0%	76.2%	78.5%	80.8%	83.1%	85.4%	87.7%	90.0%	
	達成の目安(中間評価後)							73.7%	76.0%	78.4%	80.7%	83.0%	85.3%	87.7%	90.0%

領域	1 生活習慣の改善														
分野	(5)歯・口腔の健康														
目標項目	②3歳児で過去1年間にフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合の増加														
指標	44 3歳児で過去1年間にフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合														
データソース	幼児間食摂取状況等調査														
評価	B														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、増加しており、改善傾向にあるが、目標値に達成していない。</p> <p>市町村健診におけるフッ化物歯面塗布や正しい歯磨きの普及啓発等の継続したむし歯予防の取組について働きかける必要がある。</p>														
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	47.4%	49.0%	55.1%	57.1%	58.5%	62.5%	62.2%	62.9%	65.5%	66.3%	68.1%	66.2%		
	標本数	9,881人 中 4,680人	9,461人 中 4,636人	9,407人 中 5,187人	9,438人 中 5,393人	8,909人 中 5,212人	8,887人 中 5,558人	8,894人 中 5,530人	8,480人 中 5,331人	8,124人 中 5,318人	8,168人 中 5,415人	6,872人 中 4,683人	7,983人 中 5,285人		
	達成の目安(計画策定時)	47.4%	49.0%	50.6%	52.2%	53.8%	55.4%	57.0%	58.6%	60.2%	61.8%	63.4%	65.0%		
	達成の目安(中間評価後)							62.2%	64.3%	66.5%	68.6%	70.7%	72.9%	75.0%	

領域	1 生活習慣の改善																																																																												
分野	(5) 歯・口腔の健康																																																																												
目標項目	③12歳児の一人平均歯数の減少																																																																												
指標	45 12歳児の一人平均歯数																																																																												
データソース	県教育委員会学校保健調査																																																																												
評価	A																																																																												
評価及び今後の課題	基準値に対し、年々減少し、目標値に達した。 市町村、教育委員会、県歯科医師会等と連携し、フッ化物洗口の推進を図ることが必要である。																																																																												
データ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>2010 (H22)</th> <th>2011 (H23)</th> <th>2012 (H24)</th> <th>2013 (H25)</th> <th>2014 (H26)</th> <th>2015 (H27)</th> <th>2016 (H28)</th> <th>2017 (H29)</th> <th>2018 (H30)</th> <th>2019 (H31)</th> <th>2020 (R2)</th> <th>2021 (R3)</th> <th>2022 (R4)</th> <th>2023 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現状値</td> <td></td> <td>1.74本</td> <td>1.68本</td> <td>1.47本</td> <td>1.39本</td> <td>1.42本</td> <td>1.31本</td> <td>1.25本</td> <td>1.27本</td> <td>1.15本</td> <td>1.08本</td> <td>0.97本</td> <td>0.87本</td> <td></td> </tr> <tr> <td>標本数</td> <td></td> <td>悉皆</td> <td>悉皆</td> <td>悉皆</td> <td>悉皆</td> <td>悉皆</td> <td>悉皆</td> <td>悉皆</td> <td>悉皆</td> <td>悉皆</td> <td>悉皆</td> <td>悉皆</td> <td>悉皆</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成の目安(計画策定時)</td> <td></td> <td>1.74本</td> <td>1.67本</td> <td>1.61本</td> <td>1.54本</td> <td>1.47本</td> <td>1.40本</td> <td>1.34本</td> <td>1.27本</td> <td>1.20本</td> <td>1.13本</td> <td>1.07本</td> <td>1.00本</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成の目安(中間評価後)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.25本</td> <td>1.21本</td> <td>1.17本</td> <td>1.13本</td> <td>1.08本</td> <td>1.04本</td> <td>1.00本未達</td> </tr> </tbody> </table>		年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	現状値		1.74本	1.68本	1.47本	1.39本	1.42本	1.31本	1.25本	1.27本	1.15本	1.08本	0.97本	0.87本		標本数		悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆		達成の目安(計画策定時)		1.74本	1.67本	1.61本	1.54本	1.47本	1.40本	1.34本	1.27本	1.20本	1.13本	1.07本	1.00本		達成の目安(中間評価後)								1.25本	1.21本	1.17本	1.13本	1.08本	1.04本	1.00本未達
年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)																																																															
現状値		1.74本	1.68本	1.47本	1.39本	1.42本	1.31本	1.25本	1.27本	1.15本	1.08本	0.97本	0.87本																																																																
標本数		悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆																																																																
達成の目安(計画策定時)		1.74本	1.67本	1.61本	1.54本	1.47本	1.40本	1.34本	1.27本	1.20本	1.13本	1.07本	1.00本																																																																
達成の目安(中間評価後)								1.25本	1.21本	1.17本	1.13本	1.08本	1.04本	1.00本未達																																																															



領域	1 生活習慣の改善																																																																												
分野	(5) 歯・口腔の健康																																																																												
目標項目	④40歳代における進行した歯周炎を有する者(注12)の割合の減少																																																																												
指標	46 40歳代における進行した歯周炎を有する者(注12)の割合																																																																												
データソース	青森県歯科疾患実態調査																																																																												
評価	E																																																																												
評価及び今後の課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、実測調査が中止となり、直近値を把握できないことから、評価困難(E)。別なデータソースの検討が必要である。 歯科疾患実態調査であっても標本数が少ないこと、実態調査の実施困難な場合もあることから、指標として他のものがないか検討する必要がある。 (市町村健康増進事業の歯周疾患検診(歯科健診)実施率の活用等)																																																																												
データ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>2010 (H22)</th> <th>2011 (H23)</th> <th>2012 (H24)</th> <th>2013 (H25)</th> <th>2014 (H26)</th> <th>2015 (H27)</th> <th>2016 (H28)</th> <th>2017 (H29)</th> <th>2018 (H30)</th> <th>2019 (H31)</th> <th>2020 (R2)</th> <th>2021 (R3)</th> <th>2022 (R4)</th> <th>2023 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現状値</td> <td>36.7%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>66.7%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>標本数</td> <td>30人中11人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>27人中18人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成の目安(計画策定時)</td> <td>36.7%</td> <td>35.7%</td> <td>34.8%</td> <td>33.8%</td> <td>32.8%</td> <td>31.8%</td> <td>30.9%</td> <td>29.9%</td> <td>28.9%</td> <td>27.9%</td> <td>27.0%</td> <td>26.0%</td> <td>25.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成の目安(中間評価後)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>66.7%</td> <td>60.7%</td> <td>54.8%</td> <td>48.8%</td> <td>42.9%</td> <td>36.9%</td> <td>31.0%</td> <td>25.0%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	現状値	36.7%						66.7%								標本数	30人中11人						27人中18人								達成の目安(計画策定時)	36.7%	35.7%	34.8%	33.8%	32.8%	31.8%	30.9%	29.9%	28.9%	27.9%	27.0%	26.0%	25.0%		達成の目安(中間評価後)							66.7%	60.7%	54.8%	48.8%	42.9%	36.9%	31.0%	25.0%
年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)																																																															
現状値	36.7%						66.7%																																																																						
標本数	30人中11人						27人中18人																																																																						
達成の目安(計画策定時)	36.7%	35.7%	34.8%	33.8%	32.8%	31.8%	30.9%	29.9%	28.9%	27.9%	27.0%	26.0%	25.0%																																																																
達成の目安(中間評価後)							66.7%	60.7%	54.8%	48.8%	42.9%	36.9%	31.0%	25.0%																																																															



※最終評価は実測調査中止のため中間評価との比較

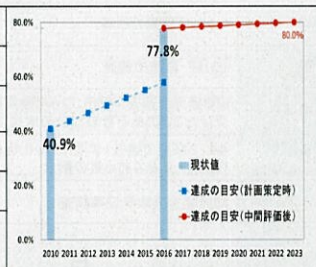
<参考> 各市町村における歯と口の健康づくりに関する取組状況調査(※)の結果(R3年度)

40歳における進行した歯周炎を有する者の割合	59.8% (993人中584人)
------------------------	----------------------

※R3年度歯周疾患検診の市町村提供データを集計したもの。歯周疾患検診受診者:6,606名、後期高齢者歯科健診受診者:1,365名の計7,971名のデータに基づくもの。(歯周疾患検診:36市町村、後期高齢者歯科健診:20市町村で実施検診データのある市町村は歯周疾患検診:30市町村、後期高齢者歯科健診:9市町村となっている)

(注12) 40歳代における進行した歯周炎を有する者とは、青森県歯科疾患実態調査の対象者である40～49歳の者のうち、歯科医師による口腔診査の結果、歯周ポケットが4mm以上であると診断された者をいう。

領域	1 生活習慣の改善																																																																												
分野	(5) 歯・口腔の健康																																																																												
目標項目	⑤40歳で喪失歯のない者(注13)の割合の増加																																																																												
指標	47 40歳で喪失歯のない者(注13)の割合																																																																												
データソース	青森県歯科疾患実態調査																																																																												
評価	E																																																																												
評価及び今後の課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、実測調査が中止となり、直近値を把握できないことから、評価困難(E)。なお、自記式調査(R4青森県県民健康・栄養調査)では、正常本数28本より少ないものの割合は66.1%であり、変化は見られず、目標値にも達成していない。 歯科疾患実態調査であっても標本数が少ないこと、実測困難な場合もあることから、指標として他のものがないか検討する必要がある。 (市町村健康増進事業の歯周疾患検診(歯科健診)実施率の活用等)																																																																												
データ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>2010 (H22)</th> <th>2011 (H23)</th> <th>2012 (H24)</th> <th>2013 (H25)</th> <th>2014 (H26)</th> <th>2015 (H27)</th> <th>2016 (H28)</th> <th>2017 (H29)</th> <th>2018 (H30)</th> <th>2019 (H31)</th> <th>2020 (R2)</th> <th>2021 (R3)</th> <th>2022 (R4)</th> <th>2023 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現状値</td> <td>40.9%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>77.8%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>標本数</td> <td>22人中9人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>27人中21人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成の目安(計画策定時)</td> <td>40.9%</td> <td>43.7%</td> <td>46.6%</td> <td>49.4%</td> <td>52.3%</td> <td>55.1%</td> <td>57.9%</td> <td>60.8%</td> <td>63.6%</td> <td>66.5%</td> <td>69.3%</td> <td>72.2%</td> <td>75.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成の目安(中間評価後)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>77.8%</td> <td>78.1%</td> <td>78.4%</td> <td>78.7%</td> <td>79.1%</td> <td>79.4%</td> <td>79.7%</td> <td>80.0%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	現状値	40.9%						77.8%								標本数	22人中9人						27人中21人								達成の目安(計画策定時)	40.9%	43.7%	46.6%	49.4%	52.3%	55.1%	57.9%	60.8%	63.6%	66.5%	69.3%	72.2%	75.0%		達成の目安(中間評価後)							77.8%	78.1%	78.4%	78.7%	79.1%	79.4%	79.7%	80.0%
年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)																																																															
現状値	40.9%						77.8%																																																																						
標本数	22人中9人						27人中21人																																																																						
達成の目安(計画策定時)	40.9%	43.7%	46.6%	49.4%	52.3%	55.1%	57.9%	60.8%	63.6%	66.5%	69.3%	72.2%	75.0%																																																																
達成の目安(中間評価後)							77.8%	78.1%	78.4%	78.7%	79.1%	79.4%	79.7%	80.0%																																																															



※最終評価は実測調査中止のため中間評価との比較

<参考1> 青森県県民健康・栄養調査の結果

自分の歯(※)が28本以上と回答した35～44歳の者の割合	2016(H28)	2022(R4)
※自分の歯には、親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは含まない。親知らずを抜くと全部で28本が正常だが、28本より多かったり、少なかったりすることもある。	59.8% (127人中76人)	66.1% (118人中78人)

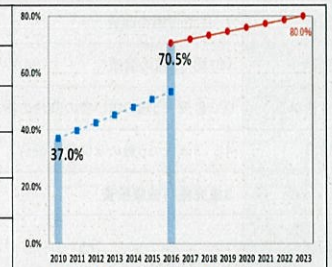
<参考2> 各市町村における歯と口の健康づくりに関する取組状況調査の結果(R3年度)

40歳で喪失歯のない者の割合	85.1% (993人中845人)
----------------	----------------------

(注13) 40歳で喪失歯のない者とは、青森県歯科疾患実態調査の対象者である35～44歳の者のうち、歯科医師による口腔診査の結果、喪失歯がないと診断された者をいう。

なお、喪失歯の定義は以下のとおり。  
・抜去または脱落により喪失した永久歯をいう。ただし、親知らずは含まない。  
・インプラントは喪失歯とする。  
・先天性欠如または何らかの理由で歯を喪失したことが明らかであっても、歯列等の関係から補綴処置の必要性が認められないものについては、喪失歯に含まない。

領域	1 生活習慣の改善																																																																												
分野	(5) 歯・口腔の健康																																																																												
目標項目	⑥60歳で24歯以上の自分の歯を有する者(注14)の割合の増加																																																																												
指標	48 60歳で24歯以上の自分の歯を有する者(注14)の割合																																																																												
データソース	青森県歯科疾患実態調査																																																																												
評価	E																																																																												
評価及び今後の課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、実測調査が中止となり、直近値を把握できないことから、評価困難(E)。なお、自記式調査(R4青森県県民健康・栄養調査)では、49.6%であり、変化は見られず、目標値にも達成していない。 歯科疾患実態調査であっても標本数が少ないこと、実測困難な場合もあることから、指標として他のものがないか検討する必要がある。 (市町村健康増進事業の歯周疾患検診(歯科健診)実施率の活用等)																																																																												
データ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>2010 (H22)</th> <th>2011 (H23)</th> <th>2012 (H24)</th> <th>2013 (H25)</th> <th>2014 (H26)</th> <th>2015 (H27)</th> <th>2016 (H28)</th> <th>2017 (H29)</th> <th>2018 (H30)</th> <th>2019 (H31)</th> <th>2020 (R2)</th> <th>2021 (R3)</th> <th>2022 (R4)</th> <th>2023 (R5)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現状値</td> <td>37.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>70.5%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>標本数</td> <td>73人中27人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>44人中31人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成の目安(計画策定時)</td> <td>37.0%</td> <td>39.8%</td> <td>42.5%</td> <td>45.3%</td> <td>48.0%</td> <td>50.8%</td> <td>53.5%</td> <td>56.3%</td> <td>59.0%</td> <td>61.8%</td> <td>64.5%</td> <td>67.3%</td> <td>70.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成の目安(中間評価後)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>70.5%</td> <td>71.9%</td> <td>73.2%</td> <td>74.6%</td> <td>75.9%</td> <td>77.3%</td> <td>78.6%</td> <td>80.0%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	現状値	37.0%						70.5%								標本数	73人中27人						44人中31人								達成の目安(計画策定時)	37.0%	39.8%	42.5%	45.3%	48.0%	50.8%	53.5%	56.3%	59.0%	61.8%	64.5%	67.3%	70.0%		達成の目安(中間評価後)							70.5%	71.9%	73.2%	74.6%	75.9%	77.3%	78.6%	80.0%
年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)																																																															
現状値	37.0%						70.5%																																																																						
標本数	73人中27人						44人中31人																																																																						
達成の目安(計画策定時)	37.0%	39.8%	42.5%	45.3%	48.0%	50.8%	53.5%	56.3%	59.0%	61.8%	64.5%	67.3%	70.0%																																																																
達成の目安(中間評価後)							70.5%	71.9%	73.2%	74.6%	75.9%	77.3%	78.6%	80.0%																																																															



※最終評価は実測調査中止のため中間評価との比較

<参考1> 青森県県民健康・栄養調査の結果

自分の歯(※)が24本以上と回答した55～64歳の者の割合	2016(H28)	2022(R4)
※自分の歯には、親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは含まない。親知らずを抜くと全部で28本が正常だが、28本より多かったり、少なかったりすることもある。	51.7% (145人中75人)	49.6% (113人中56人)

<参考2> 各市町村における歯と口の健康づくりに関する取組状況調査の結果(R3年度)

60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合	76.8% (1,141人中876人)
------------------------	------------------------

(注14) 60歳で24歯以上自分の歯を有する者とは、青森県歯科疾患実態調査の対象者である55～64歳の者のうち、歯科医師による口腔診査の結果、24歯以上の自分の歯があると診断された者をいう。



領域	1 生活習慣の改善														
分野	(5) 歯・口腔の健康														
目標項目	⑦80歳で20歯以上の自分の歯を有する者(注15)の割合の増加														
指標	49 80歳で20歯以上の自分の歯を有する者(注15)の割合														
データソース	青森県歯科疾患実態調査														
評価	E														
評価及び今後の課題	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、実測調査が中止となり、直近値を把握できないことから、評価困難(E)。</p> <p>なお、自記式調査(R4青森県民健康・栄養調査)では、22.6%であり、変化は見られず、目標値にも達成していない。</p> <p>歯科疾患実態調査であっても標本数が少ないこと、実測困難な場合もあることから、指標として他のものがないか検討する必要がある。(市町村健康増進事業の歯周疾患検診(歯科健診)実施率の活用等)</p>														
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	22.0%						34.8%							
	標本数	59人中 13人						46人中 16人							
	達成の目安(計画策定時)	22.0%	24.3%	26.7%	29.0%	31.3%	33.7%	36.0%	38.3%	40.7%	43.0%	45.3%	47.7%	50.0%	
	達成の目安(中間評価後)							34.8%	37.0%	39.1%	41.3%	43.5%	45.7%	47.8%	50.0%

※最終評価は実測調査中止のため中間評価との比較

<参考1> 青森県民健康・栄養調査の結果

	2016 (H28)	2022 (R4)
自分の歯(※)が20本以上と回答した75~84歳の者の割合	31.0%	22.6%
※自分の歯には、親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは含まない。親知らずを抜くと全部で28本が正常だが、28本より多かったり、少なかったりすることもある。	(113人中35人)	(93人中21人)

<参考2> 各市町村における歯と口の健康づくりに関する取組状況調査の結果(R3年度)

75歳~84歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合	34.2%
	(571人中195人)

(注15) 80歳で20歯以上自分の歯を有する者とは、青森県歯科疾患実態調査の対象者である75~84歳の者のうち、歯科医師による口腔診査の結果、20歯以上の自分の歯があると診断された者をいう。

領域	1 生活習慣の改善														
分野	(5) 歯・口腔の健康														
目標項目	⑧過去1年間に歯科検診を受診した者の割合の増加														
指標	50 過去1年間に歯科検診を受診した者の割合(20歳以上)														
データソース	青森県民健康・栄養調査														
評価	B														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、増加し、改善傾向にあるが、目標値には達していない。</p> <p>定期的な歯科受診により、歯周炎やう蝕の早期発見や、歯の喪失防止が可能となるので、かかりつけ歯科医を持つことを推進する必要がある。</p>														
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	14.1%						37.1%						28.7%	
	標本数	753人中 106人						886人中 329人						743人中 219人	
	達成の目安(計画策定時)	14.1%	18.3%	22.6%	26.8%	31.1%	35.3%	39.5%	43.8%	48.0%	52.3%	56.5%	60.8%	65.0%	
	達成の目安(中間評価後)							37.1%	41.1%	45.1%	49.1%	53.0%	57.0%	61.0%	65.0%

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防														
分野	(1) がん														
目標項目	①75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少														
指標	51 75歳未満のがんの年齢調整死亡率(人口10万対)														
データソース	国立がん研究センターがん対策情報センター(厚生労働省「人口動態調査」をもとに算定)														
評価	A														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、年々減少し、目標値を達成した。</p> <p>引き続きモニタリングを行い、動向を確認していく。</p>														
データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	97.7	96.5	96.9	93.3	91.1	88.9	87.6	86.9	84.0					
	標本数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	達成の目安(計画策定時)	97.7	95.2	92.7	90.2	87.6	85.1	82.6							
	達成の目安(中間評価後)					93.3	91.3	89.3	87.3	85.3	83.3	81.3			

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防														
分野	(1) がん														
目標項目	②がん検診の受診率の向上														
指標	52 男性の胃がん検診の受診率														
データソース	国立がん研究センターがん対策情報センター(厚生労働省「国民生活基礎調査」をもとに算定)														
評価	A														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、調査を行うごとに増加し、目標値を達成した。</p> <p>引き続きモニタリングを行い、動向を確認していく。</p>														
データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	37.7%		44.4%		48.9%		52.7%							
	標本数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	達成の目安(計画策定時)	37.7%	39.5%	41.2%	43.0%	44.7%	46.5%	48.2%	50.0%以上						
	達成の目安(中間評価後)						48.9%	49.1%	49.2%	49.4%	49.5%	49.7%	49.8%	50.0%以上	

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防														
分野	(1)がん														
目標項目	②がん検診の受診率の向上														
指標	53 女性の胃がん検診の受診率														
データソース	国立がん研究センターがん対策情報センター(厚生労働省「国民生活基礎調査」をもとに算定)														
評価	B														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、調査を行うごとに増加しているが、目標値は達成していない。</p> <p>引き続きモニタリングを行い、動向を確認していく。</p>														
データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	33.0%			36.2%						38.9%	43.5%			
	標本数	-			-						-				
	達成の目安(計画策定時)	33.0%	35.4%	37.9%	40.3%	42.7%	45.1%	47.6%	50.0%以上						
	達成の目安(中間評価後)								38.9%	40.5%	42.1%	43.7%	45.2%	46.8%	48.4%

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防														
分野	(1)がん														
目標項目	②がん検診の受診率の向上														
指標	54 男性の肺がん検診の受診率														
データソース	国立がん研究センターがん対策情報センター(厚生労働省「国民生活基礎調査」をもとに算定)														
評価	A														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、調査を行うごとに増加し、目標値を達成した。</p> <p>引き続きモニタリングを行い、動向を確認していく。</p>														
データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	31.1%			49.0%						55.0%	59.1%			
	標本数	-			-						-				
	達成の目安(計画策定時)	31.1%	33.8%	36.5%	39.2%	41.9%	44.6%	47.3%	50.0%以上						
	達成の目安(中間評価後)								55.0%以上	50.0%以上	50.0%以上	50.0%以上	50.0%以上	50.0%以上	50.0%以上

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防														
分野	(1)がん														
目標項目	②がん検診の受診率の向上														
指標	55 女性の肺がん検診の受診率														
データソース	国立がん研究センターがん対策情報センター(厚生労働省「国民生活基礎調査」をもとに算定)														
評価	A														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、調査を行うごとに増加し、目標値を達成した。</p> <p>引き続きモニタリングを行い、動向を確認していく。</p>														
データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	29.3%			41.6%						46.6%	52.3%			
	標本数	-			-						-				
	達成の目安(計画策定時)	29.3%	32.3%	35.2%	38.2%	41.1%	44.1%	47.0%	50.0%以上						
	達成の目安(中間評価後)							46.6%	47.1%	47.6%	48.1%	48.5%	49.0%	49.5%	50.0%以上

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防														
分野	(1)がん														
目標項目	②がん検診の受診率の向上														
指標	56 男性の大腸がん検診の受診率														
データソース	国立がん研究センターがん対策情報センター(厚生労働省「国民生活基礎調査」をもとに算定)														
評価	A														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、調査を行うごとに増加し、目標値を達成した。</p> <p>引き続きモニタリングを行い、動向を確認していく。</p>														
データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	31.1%			42.0%						48.9%	54.5%			
	標本数	-			-						-				
	達成の目安(計画策定時)	31.1%	33.8%	36.5%	39.2%	41.9%	44.6%	47.3%	50.0%以上						
	達成の目安(中間評価後)							48.9%	49.1%	49.2%	49.4%	49.5%	49.7%	49.8%	50.0%以上

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防														
分野	(1)がん														
目標項目	②がん検診の受診率の向上														
指標	57 女性の大腸がん検診の受診率														
データソース	国立がん研究センターがん対策情報センター(厚生労働省「国民生活基礎調査」をもとに算定)														
評価	B														
評価及び今後の課題	基準値と比較し、調査を行うごとに増加しているが、目標値は達成していない。 引き続きモニタリングを行い、動向を確認していく。														
データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	29.0%			36.5%			41.6%			47.7%				
	標本数	-			-			-			-				
	達成の目安(計画策定時)	29.0%	32.0%	35.0%	38.0%	41.0%	44.0%	47.0%	50.0%以上						
	達成の目安(中間評価後)							41.6%	42.8%	44.0%	45.2%	46.4%	47.6%	48.8%	50.0%以上

-57-

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防														
分野	(1)がん														
目標項目	②がん検診の受診率の向上														
指標	58 20～69歳 女性の子宮頸がん検診の受診率														
データソース	国立がん研究センターがん対策情報センター(厚生労働省「国民生活基礎調査」をもとに算定)														
評価	B														
評価及び今後の課題	基準値と比較し、調査を行うごとに増加しているが、目標値は達成していない。 引き続きモニタリングを行い、動向を確認していく。														
データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	38.9%			41.3%			40.9%			44.1%				
	標本数	-			-			-			-				
	達成の目安(計画策定時)	38.9%	40.5%	42.1%	43.7%	45.2%	46.8%	48.4%	50.0%以上						
	達成の目安(中間評価後)							40.9%	42.2%	43.5%	44.8%	46.1%	47.4%	48.7%	50.0%以上

-58-

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防														
分野	(1)がん														
目標項目	②がん検診の受診率の向上														
指標	59 40～69歳 女性の乳がん検診の受診率														
データソース	国立がん研究センターがん対策情報センター(厚生労働省「国民生活基礎調査」をもとに算定)														
評価	B														
評価及び今後の課題	基準値と比較し、調査を行うごとに増加しているが、目標値は達成していない。 引き続きモニタリングを行い、動向を確認していく。														
データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	39.3%			43.6%			41.6%			45.6%				
	標本数	-			-			-			-				
	達成の目安(計画策定時)	39.3%	40.8%	42.4%	43.9%	45.4%	46.9%	48.5%	50.0%以上						
	達成の目安(中間評価後)							41.6%	42.8%	44.0%	45.2%	46.4%	47.6%	48.8%	50.0%以上

-59-

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防														
分野	(2)循環器疾患														
目標項目	①脳血管疾患(注16)・虚血性心疾患(注17)の年齢調整死亡率の減少														
指標	60 男性の脳血管疾患(注16)の年齢調整死亡率(人口10万対)														
データソース	厚生労働省「人口動態統計特殊報告」														
評価	E														
評価及び今後の課題	直近の調査結果(R2)がR5.12月に発表予定であり、中間評価以降の直近データが得られないため、評価困難。														
データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	67.1					52.8								
	標本数	-						-							
	達成の目安(計画策定時)	67.1	66.2	65.3	64.4	63.5	62.6	61.8	60.9	60.0	59.1	58.2	57.3	56.4	
	達成の目安(中間評価後)						52.8	51.8	50.9	49.9	48.9	47.9	47.0	46.0	45.0

-60-

(注16) 脳血管疾患とは、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、その他の脳血管疾患をいう。

(注17) 虚血性疾患とは、急性心筋梗塞、その他の虚血性心疾患をいう。

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防														
分野	(2)循環器疾患														
目標項目	①脳血管疾患(注16)・虚血性心疾患(注17)の年齢調整死亡率の減少														
指標	61 女性の脳血管疾患(注16)の年齢調整死亡率(人口10万対)														
データソース	厚生労働省「人口動態統計特殊報告」														
評価	E														
評価及び今後の課題	直近の調査結果(R2)がR5.12月に発表予定であり、中間評価以降の直近データが得られないため、評価困難。														
データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	34.0					28.2								
	標本数	-					-								
	達成の目安(計画策定時)	34.0	33.8	33.5	33.3	33.1	32.8	32.6	32.4	32.1	31.9	31.7	31.4	31.2	
	達成の目安(中間評価後)						28.2	27.8	27.3	26.9	26.5	26.0	25.6	25.1	24.7

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防														
分野	(2)循環器疾患														
目標項目	①脳血管疾患(注16)・虚血性心疾患(注17)の年齢調整死亡率の減少														
指標	62 男性の虚血性心疾患(注17)の年齢調整死亡率(人口10万対)														
データソース	厚生労働省「人口動態統計特殊報告」														
評価	E														
評価及び今後の課題	直近の調査結果(R2)がR5.12月に発表予定であり、中間評価以降の直近データが得られないため、評価困難。														
データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	48.6					33.2								
	標本数	-					-								
	達成の目安(計画策定時)	48.6	48.4	48.2	48.1	47.9	47.7	47.5	47.3	47.1	47.0	46.8	46.6	46.4	
	達成の目安(中間評価後)						33.2	33.0	32.9	32.7	32.5	32.3	32.2	32.0	31.8

(注16) 脳血管疾患とは、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、その他の脳血管疾患をいう。  
(注17) 虚血性疾患とは、急性心筋梗塞、その他の虚血性心疾患をいう。

(注16) 脳血管疾患とは、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、その他の脳血管疾患をいう。  
(注17) 虚血性疾患とは、急性心筋梗塞、その他の虚血性心疾患をいう。

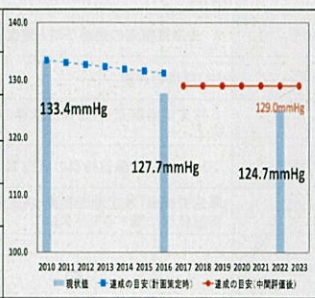
領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防		評価	E											
分野	(2)循環器疾患														
目標項目	①脳血管疾患(注16)・虚血性心疾患(注17)の年齢調整死亡率の減少														
指標	63 女性の虚血性心疾患(注17)の年齢調整死亡率(人口10万対)														
データソース	厚生労働省「人口動態統計特殊報告」														
評価	E														
評価及び今後の課題	直近の調査結果(R2)がR5.12月に発表予定であり、中間評価以降の直近データが得られないため、評価困難。														
データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	17.6					10.4								
	標本数	-					-								
	達成の目安(計画策定時)	17.6	17.5	17.5	17.4	17.3	17.3	17.2	17.1	17.1	17.0	16.9	16.9	16.8	
	達成の目安(中間評価後)							12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防														
分野	(2)循環器疾患														
目標項目	②高血圧の改善(収縮期血圧(注18)の平均値の低下)														
指標	64 男性の収縮期血圧(注18)の平均値														
データソース	青森県民健康・栄養調査														
評価	A														
評価及び今後の課題	基準値と比較し、低下し、目標値を達成した。														
データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	139.9 mmHg					132.1 mmHg							130.1 mmHg	
	標本数	112					107							186	
	達成の目安(計画策定時)	139.9 mmHg	139.4 mmHg	138.9 mmHg	138.4 mmHg	137.9 mmHg	137.4 mmHg	137.0 mmHg	136.5 mmHg	136.0 mmHg	135.5 mmHg	135.0 mmHg	134.5 mmHg	134.0 mmHg	134.0 mmHg
	達成の目安(中間評価後)								134.0 mmHg	134.0 mmHg	134.0 mmHg	134.0 mmHg	134.0 mmHg	134.0 mmHg	134.0 mmHg

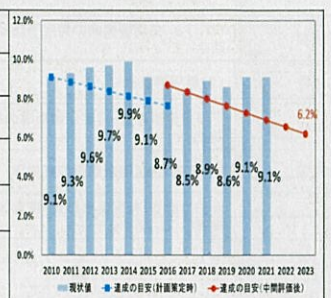
(注16) 脳血管疾患とは、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、その他の脳血管疾患をいう。  
(注17) 虚血性疾患とは、急性心筋梗塞、その他の虚血性心疾患をいう。

(注18) 収縮期血圧とは、心臓が収縮したときの血圧。血液が心臓から全身に送り出された状態で、血圧が最も高くなるため、最高血圧とも呼ばれる。  
※ H22,H28の数値は、会場による実測調査の値だが、R4は新型コロナウイルス感染症の影響により、自記式調査となったため、被調査者の健診結果を転記した数値をもとに集計した値である。

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防													
分野	(2)循環器疾患													
目標項目	②高血圧の改善(収縮期血圧(注18)の平均値の低下)													
指標	65 女性の収縮期血圧(注18)の平均値													
データソース	青森県民健康・栄養調査													
評価	A													
評価及び今後の課題	基準値と比較し、低下し、目標値を達成した。													
年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
現状値	133.4						127.7						124.7	
目標値	177						143						207	
達成の目安(計画策定時)	133.4	133.0	132.7	132.3	131.9	131.6	131.2	130.8	130.5	130.1	129.7	129.4	129.0	129.0
達成の目安(中間評価後)								129.0	129.0	129.0	129.0	129.0	129.0	129.0



領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防													
分野	(2)循環器疾患													
目標項目	③脂質異常症の減少													
指標	66 男性のLDLコレステロール(注19)が160mg/dl以上の者の割合													
データソース	市町村国民健康保険健康診査データ(40~74歳)													
評価	B													
評価及び今後の課題	基準値と比較し、減少傾向にあるが、目標値には達していない。 引き続きモニタリングをする必要があるが、男女別の対策とならないことから、次回指標とする場合は総数で引き続きモニタリングする。													
年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
現状値	9.1%	9.3%	9.6%	9.7%	9.9%	9.1%	8.7%	8.5%	8.9%	8.6%	9.1%	9.1%		
目標値	36,120人中3,299人	38,214人中3,953人	38,957人中3,739人	40,690人中3,958人	42,494人中4,216人	43,384人中3,962人	42,871人中3,720人	41,409人中3,933人	40,354人中3,606人	39,738人中3,498人	35,053人中3,187人	39,738人中3,406人		
達成の目安(計画策定時)	9.1%	8.9%	8.6%	8.4%	8.1%	7.9%	7.7%	7.4%	7.2%	6.9%	6.7%	6.4%	6.2%	
達成の目安(中間評価後)							8.7%	8.3%	8.0%	7.6%	7.3%	6.9%	6.6%	6.2%



(注18) 収縮期血圧とは、心臓が収縮したときの血圧。血液が心臓から全身に送り出された状態で、血圧が最も高くなるため、最高血圧とも呼ばれる  
※ H22,H28の数値は、会場による実測調査の値だが、R4は新型コロナウイルス感染症の影響により、自記式調査となったため、被調査者の健診結果を転記した数値をもとに集計した値である。

<参考1> 県内医療保険者(市町村国保以外)の特定健康診査の間診票データの集約結果

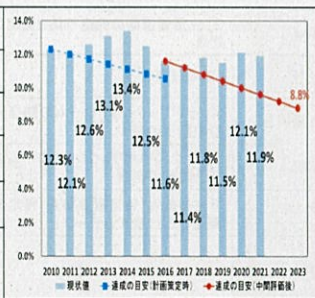
	2016 (H28)	2020 (R2)
40~74歳 男性のLDLコレステロール(注19)が160mg/dl以上の者の割合	13.7% (70,540人中9,660人)	13.3%(117,496人中15,597人)

<参考2> 男性のHDLコレステロール(注20)が40mg/dl未満の者の割合(市町村国民健康保険健康診査データ)

2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)
6.6%	5.8%	6.1%	6.4%	6.7%	6.9%	6.5%	5.9%	5.9%	5.3%	6.1%

(注19) LDLコレステロールとは、血液中に必要以上に取り込まれると蓄積されて内壁が肥厚し、動脈硬化を引き起こす原因となる、タンパク質の一種。悪玉コレステロールとよばれることがある。  
(注20) HDLコレステロールとは、体内の余分なコレステロールを回収して肝臓へ運ぶ役割を担っている、タンパク質の一種。血管壁に沈着して蓄積したコレステロールを取り除いて動脈硬化を防ぐ働きをすることから善玉コレステロールとよばれることがある。

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防													
分野	(2)循環器疾患													
目標項目	③脂質異常症の減少													
指標	67 女性のLDLコレステロール(注19)が160mg/dl以上の者の割合													
データソース	市町村国民健康保険健康診査データ(40~74歳)													
評価	B													
評価及び今後の課題	基準値と比較し、減少傾向にあるが、目標値には達していない。 引き続きモニタリングをする必要があるが、男女別の対策とならないことから、次回指標とする場合は総数で引き続きモニタリングする。													
年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
現状値	12.3%	12.1%	12.6%	13.1%	13.4%	12.5%	11.4%	11.8%	11.5%	12.1%	11.9%			
目標値	51,485人中6,322人	53,820人中6,496人	54,086人中6,829人	55,909人中7,349人	57,792人中7,761人	57,990人中7,298人	56,454人中6,569人	54,529人中6,211人	52,264人中6,156人	51,347人中5,924人	44,037人中5,322人	51,347人中5,924人		
達成の目安(計画策定時)	12.3%	12.0%	11.7%	11.4%	11.1%	10.8%	10.6%	10.3%	10.0%	9.7%	9.4%	9.1%	8.8%	
達成の目安(中間評価後)							11.6%	11.2%	10.8%	10.4%	10.0%	9.6%	9.2%	8.8%



領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防													
分野	(2)循環器疾患													
目標項目	④メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少													
指標	68 72 メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合													
データソース	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ」													
評価	D													
評価及び今後の課題	基準値と比較し、悪化した。 引き続きモニタリングをすることし、生活習慣の改善等の取組を進めていく必要がある。													
年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
現状値	26.2%	26.9%	26.2%	26.2%	26.3%	26.6%	27.5%	28.2%	28.6%	29.5%	30.8%	30.8%		
目標値	210,789人中59,233人	223,253人中60,137人	232,539人中61,010人	243,647人中63,796人	264,803人中69,703人	266,699人中71,565人	272,748人中74,803人	281,792人中78,494人	289,985人中83,072人	290,986人中85,998人	288,224人中88,721人	297,968人中91,969人		
達成の目安(計画策定時)	26.2%	25.2%	24.2%	23.2%	22.2%	21.3%	20.3%	19.3%						
達成の目安(中間評価後)						26.6%	25.8%	24.9%	24.1%	23.3%	22.4%	21.6%	20.8%	20.0%



<参考1> 県内医療保険者(市町村国保以外)の特定健康診査の間診票データの集約結果

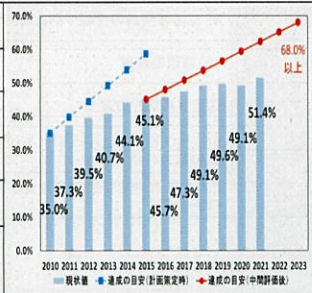
	2016 (H28)	2020 (R2)
40~74歳 女性のLDLコレステロール(注19)が160mg/dl以上の者の割合	12.5%(57,308人中7,186人)	13.0%(113,906人中14,837人)

<参考2> 女性のHDLコレステロール(注20)が40mg/dl未満の者の割合(市町村国民健康保険健康診査データ)

2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)
1.6%	1.3%	1.6%	1.5%	1.5%	1.5%	1.4%	1.2%	1.1%	1.0%	1.2%

(注19) LDLコレステロールとは、血液中に必要以上に取り込まれると蓄積されて内壁が肥厚し、動脈硬化を引き起こす原因となる、タンパク質の一種。悪玉コレステロールとよばれることがある。  
(注20) HDLコレステロールとは、体内の余分なコレステロールを回収して肝臓へ運ぶ役割を担っている、タンパク質の一種。血管壁に沈着して蓄積したコレステロールを取り除いて動脈硬化を防ぐ働きをすることから善玉コレステロールとよばれることがある。

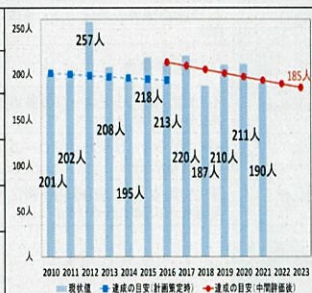
領域	69 73 生活習慣病の発症予防と重症化予防														
分野	(2)循環器疾患														
目標項目	⑤特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上														
指標	69 73 特定健康診査の実施率														
データソース	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ」														
評価	B														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、増加傾向にあるが、目標値には達していない。</p> <p>引き続きモニタリングをすることし、健診実施率の向上のための取組をすすめていく必要がある。</p>														
データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	35.0%	37.3%	39.5%	40.7%	44.1%	45.1%	45.7%	47.3%	49.1%	49.6%	49.1%	51.4%		
	標本数	802,167人 中 210,789人	898,904人 中 223,253人	888,432人 中 232,539人	898,837人 中 243,647人	899,566人 中 264,803人	895,994人 中 266,689人	896,277人 中 272,748人	895,162人 中 281,782人	890,311人 中 289,985人	886,805人 中 290,985人	886,576人 中 288,224人	880,257人 中 297,968人		
	達成の目安 (計画策定時)	35.0%	39.7%	44.4%	49.1%	53.9%	58.6%	63.3%							
	達成の目安 (中間評価後)						45.1%	48.0%	50.8%	53.7%	56.6%	59.4%	62.3%	65.1%	68.0%以上



領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防														
分野	(2)循環器疾患														
目標項目	⑤特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上														
指標	70 74 特定保健指導の実施率														
データソース	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ」														
評価	B														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、増加傾向にあるが、目標値には達していない。</p> <p>引き続きモニタリングをすることし、健診実施率の向上のための取組をすすめていく必要がある。</p>														
データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	18.6%	19.2%	19.7%	22.9%	22.8%	23.3%	24.1%	24.4%	27.3%	25.7%	27.1%	25.8%		
	標本数	34,688人 中 6,400人	37,595人 中 7,237人	37,721人 中 7,441人	38,293人 中 8,763人	41,684人 中 9,521人	41,796人 中 9,726人	43,460人 中 10,476人	45,476人 中 11,113人	45,214人 中 12,637人	46,772人 中 12,618人	46,689人 中 13,187人	49,013人 中 12,637人		
	達成の目安 (計画策定時)	18.6%	22.4%	26.1%	29.9%	33.7%	37.5%	41.2%	45.0%以上						
	達成の目安 (中間評価後)						23.3%	26.0%	28.7%	31.4%	34.2%	36.9%	39.6%	42.3%	45.0%以上



領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防														
分野	(3)糖尿病														
目標項目	①合併症(糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数)の減少														
指標	71 糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数														
データソース	日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況」														
評価	B														
評価及び今後の課題	<p>基準値から減少したが、目標値には達していない。</p> <p>引き続きモニタリングをすることし、市町村の糖尿病腎症重要化予防プログラムの円滑な実施の支援及び糖尿病の症状、合併症など正しい知識の普及啓発をすすめていく必要がある。</p>														
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	201人	202人	257人	208人	195人	218人	213人	220人	210人	211人	190人	185人		
	標本数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	達成の目安 (計画策定時)	201人	200人	198人	197人	196人	194人	193人	192人	190人	189人	188人	186人	185人	
	達成の目安 (中間評価後)						213人	209人	205人	201人	197人	193人	189人	185人	



領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防														
分野	(2)循環器疾患														
目標項目	④メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少														
指標	68 72 メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合														
データソース	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ」														
評価	D														
評価及び今後の課題	<p>基準値と比較し、悪化した。</p> <p>引き続きモニタリングをすることし、健診実施率向上のための取組をすすめていく必要がある。</p>														
データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	26.2%	26.9%	26.2%	26.2%	26.3%	26.6%	27.5%	28.2%	28.6%	29.5%	30.8%	30.8%		
	標本数	210,789人 中 59,233人	223,253人 中 60,137人	232,539人 中 61,010人	243,647人 中 63,785人	264,803人 中 69,703人	266,689人 中 71,558人	272,748人 中 74,883人	281,782人 中 79,494人	289,985人 中 83,072人	280,986人 中 85,696人	286,224人 中 88,721人	297,968人 中 91,968人		
	達成の目安 (計画策定時)	26.2%	25.2%	24.2%	23.2%	22.2%	21.3%	20.3%	19.3%						
	達成の目安 (中間評価後)						26.6%	25.8%	24.9%	24.1%	23.3%	22.4%	21.6%	20.8%	20.0%



領域	69 73 生活習慣病の発症予防と重症化予防														
分野	(2)循環器疾患														
目標項目	⑤特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上														
指標	69 73 特定健康診査の実施率														
データソース	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ」														
評価	B														
評価及び今後の課題	基準値と比較し、増加傾向にあるが、目標値には達していない。 引き続きモニタリングをすることとし、健診実施率向上のための取組をすすめていく必要がある。														
データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	35.0%	37.3%	39.5%	40.7%	44.1%	45.1%	45.7%	47.3%	49.1%	49.6%	49.1%	51.4%		
	標本数	602,187人中 210,789人中	598,904人中 223,255人中	588,432人中 232,539人中	598,837人中 243,647人中	599,566人中 254,803人中	595,994人中 268,899人中	596,277人中 272,748人中	595,162人中 281,792人中	590,311人中 289,965人中	586,805人中 290,986人中	586,576人中 288,224人中	580,257人中 297,968人中		
	達成の目安(計画策定時)	35.0%	39.7%	44.4%	49.1%	53.9%	58.6%	63.3%	68.0%以上						
	達成の目安(中間評価後)						45.1%	48.0%	50.8%	53.7%	56.6%	59.4%	62.3%	65.1%	68.0%以上

-73-

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防														
分野	(2)循環器疾患														
目標項目	⑤特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上														
指標	70 74 特定保健指導の実施率														
データソース	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ」														
評価	B														
評価及び今後の課題	基準値と比較し、増加傾向にあるが、目標値には達していない。 引き続きモニタリングをすることとし、健診実施率向上のための取組をすすめていく必要がある。														
データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	18.6%	19.2%	19.7%	22.9%	22.8%	23.3%	24.1%	24.4%	27.3%	25.7%	27.1%	25.8%		
	標本数	34,688人中 6,460人中	37,596人中 7,237人中	37,721人中 7,441人中	38,293人中 6,783人中	41,684人中 9,921人中	41,796人中 8,726人中	43,460人中 10,476人中	45,476人中 11,113人中	46,214人中 12,837人中	46,772人中 12,016人中	48,639人中 13,187人中	49,013人中 12,637人中		
	達成の目安(計画策定時)	18.6%	22.4%	26.1%	29.9%	33.7%	37.5%	41.2%	45.0%以上						
	達成の目安(中間評価後)						23.3%	26.0%	28.7%	31.4%	34.2%	36.9%	39.6%	42.3%	45.0%以上

-74-

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防														
分野	(4)COPD(慢性閉塞性肺疾患)														
目標項目	①COPDの認知度の向上														
指標	75 COPDの認知度														
データソース	青森県ウェブアンケート(注21)														
評価	E														
評価及び今後の課題	中間評価以降のデータが無く、最終評価のための調査ができないことから、評価困難(E)とした。 指標とする場合は、別のデータソースを検討する必要がある。 なお、健康日本21(第三次)では、「COPD死亡率」が新指標となったことから、COPD認知度は継続せず、別指標によるモニタリングを検討していく必要がある。														
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値				17.4%	25.8%		25.9%							
	標本数				809人中 141人中	407人中 105人中		293人中 76人中							
	達成の目安(計画策定時)				17.4%	24.4%	31.3%	38.3%	45.2%	52.2%	59.1%	66.1%	73.0%	80.0%	
	達成の目安(中間評価後)							25.9%	33.6%	41.4%	49.1%	56.8%	64.5%	72.3%	80.0%

※最終評価は調査不可能のため中間評価との比較

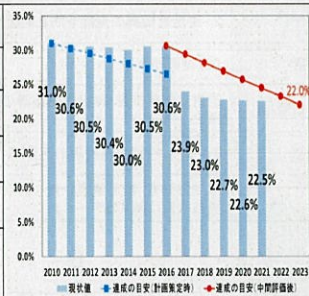
領域	3 こころの健康														
分野	(1)こころの健康づくり														
目標項目	①自殺者の減少														
指標	76 自殺死亡率(人口10万対)														
データソース	厚生労働省「人口動態統計」														
評価	B														
評価及び今後の課題	基準値と比較し、最終評価時は減少したが、年度により増減あり、目標値には達していない。 新型コロナウイルス感染症拡大等による経済的な影響や対面コミュニケーションの機会減少による孤立化も影響があると考えられる。 なお、本指標は県障害福祉保険課が所管する、県自殺対策計画「いのちを支える自殺対策計画」のもとで対策を講じる項目となることから、県がん・生活習慣病対策課では「こころの健康づくり」として、今後は一次予防の視点で対策を続けていく。														
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
	現状値	26.2	24.3	23.3	20.5	20.8	20.6	19.3	23.4	20.2	19.3	16.6			
	標本数														
	達成の目安(計画策定時)	26.2	25.7	25.3	24.8	24.3	23.8	23.4	22.9	22.4	21.9	21.5	21.0		
	達成の目安(中間評価後)								20.8	20.1	19.4	18.7	18.0	17.3	16.6

(注21)「青森県ウェブアンケート(あおもりサーテ)」は、2018年(平成30年)3月31日をもってサイトでの運営を終え、2018年(平成30年)4月以降は「青森県電子申請・届出システム」のアンケート機能を活用し、随時アンケートを行うこととしている。

-75-

-76-

領域	3 こころの健康														
分野	(2) 休養(睡眠)														
目標項目	①睡眠による休養が十分にとれていない者の割合の減少														
指標	77 睡眠で休養が十分にとれていない者の割合														
データソース	市町村国民健康保険健康診査データ(40～74歳)														
評価	B														
評価及び今後の課題	基準値と比較し、減少傾向にあるが、目標値には達していない。 引き続きモニタリングをする必要がある。														
データ	年度	2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)
現状値		31.0%	30.6%	30.5%	30.4%	30.0%	30.5%	30.6%	23.9%	23.0%	22.7%	22.6%	22.5%		
標準数	79,863人	83,027人	83,611人	86,346人	89,468人	89,473人	87,460人	84,178人	79,215人	79,325人	68,528人	79,325人			
達成の目安(計画策定時)	31.0%	30.3%	29.5%	28.8%	28.0%	27.3%	26.5%	25.8%	25.0%	24.3%	23.5%	22.8%	22.0%		
達成の目安(中間評価後)							30.6%	29.4%	28.1%	26.9%	25.7%	24.5%	23.2%	22.0%	

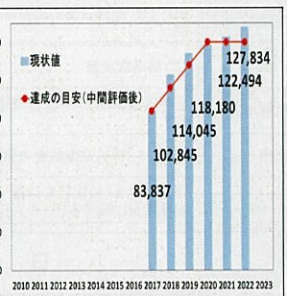


<参考>

県内医療保険者(市町村国保以外)の特定健康診査の間診票データの集約結果

	2016(H28)	2020(R2)
40～74歳 男女総計の睡眠で休養が十分にとれていない者の割合	39.3% (88,077人中34,590人)	33.3%(102,106人中33,992人)

領域	3 こころの健康														
分野	(3) 認知症														
目標項目	①認知症サポーター及びキャラバン・メイトの数の増加														
指標	78 認知症サポーター及びキャラバン・メイトの数														
データソース	全国キャラバン・メイト連絡協議会報告														
評価	A														
評価及び今後の課題	中間評価時に新たに設定した指標であり、中間評価時に設定した目標が達成した。 (目標値は「あおり高齢者すこやか自立プラン2018」に準じて120,000人とし、目標年次も同プランの期間に合わせて2020年度としている。) 認知症施策は「あおり高齢者すこやか自立プラン2021」に基づき推進されていること、健康日本21(第三次)では、高齢者に関する指標を「ライフコース(高齢者)」領域で設定しているため、次期県計画においても適切な指標の設定や、適切な領域での管理が必要である。														
データ	年度	2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)
現状値		0.8%	3.6%	5.1%	4.9%	3.8%			83,837人	102,845人	114,045人	118,180人	122,494人	127,834人	
標準数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
達成の目安(計画策定時)	0.8%	1.6%	2.3%	3.1%	3.9%				83,837人	95,891人	107,946人	120,000人	120,000人	120,000人	



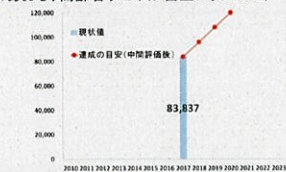
※中間評価との比較

<参考>

認知症サポーター数及びキャラバン・メイト数 (出典:あおり高齢者すこやか自立プラン2018)

年度	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(R4)
現状値	83,837人	95,891人	107,946人	120,000人

達成の目安



(注22) 「認知症サポーター」は、自治体事務局等が行う「認知症サポーター養成講座」を受けた人のことである。

(注23) 「キャラバン・メイト」は、自治体事務局等と「認知症サポーター養成講座」を開催し、講師役を務めていただく人のことである。キャラバン・メイトになるためには所定のキャラバン・メイト養成研修を受講し登録する必要がある。



【参考】領域1 生活習慣の改善  
分野(1)栄養・食生活  
指標1 20歳～60歳代男性の肥満者の割合

青森県総合健診センター健診受診者の肥満者の割合(男性)  
(BMI25.0以上)

■2010年度(平成22年度)

年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
肥満者の割合	32.9%	25.8%	35.7%	37.2%	35.7%	30.6%	27.2%	20.8%
標本数	61,594人中 22,247人	5,963人中 1,538人	10,726人中 3,832人	11,872人中 4,421人	13,901人中 4,966人	10,819人中 3,310人	6,989人中 1,804人	1,324人中 276人

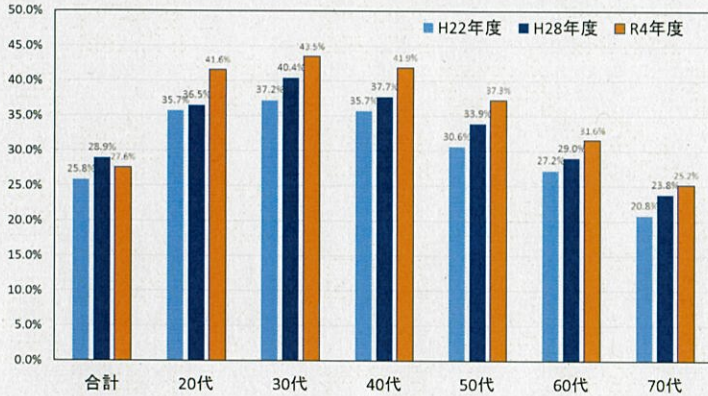
■2016年度(平成28年度)

年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
肥満者の割合	34.5%	28.9%	36.5%	40.4%	37.7%	33.9%	29.0%	23.8%
標本数	65,366人中 22,578人	6,544人中 1,888人	8,814人中 3,216人	11,997人中 4,844人	12,091人中 4,555人	14,494人中 4,910人	8,564人中 2,484人	2,862人中 681人

■2022年度(令和4年度)

年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
肥満者の割合	36.4%	27.6%	41.6%	43.5%	41.9%	37.3%	31.6%	25.2%
標本数	57,307人中 20,877人	7,875人中 2,176人	7,083人中 2,948人	9,037人中 3,932人	9,455人中 3,959人	9,679人中 3,612人	10,513人中 3,327人	3,865人中 923人

青森県総合健診センター健診受診者肥満者の割合(男性)



【参考】領域1 生活習慣の改善  
分野(1)栄養・食生活  
指標2 40歳～60歳代女性の肥満者の割合

青森県総合健診センター健診受診者の肥満者の割合(女性)  
(BMI25.0以上)

■平成22年度

年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
肥満者の割合	22.6%	12.6%	16.1%	19.7%	23.3%	26.6%	29.6%	28.9%
標本数	59,770人中 13,526人	5,388人中 679人	7,551人中 1,212人	10,083人中 1,987人	12,888人中 3,003人	13,648人中 3,634人	8,875人中 2,624人	1,337人中 387人

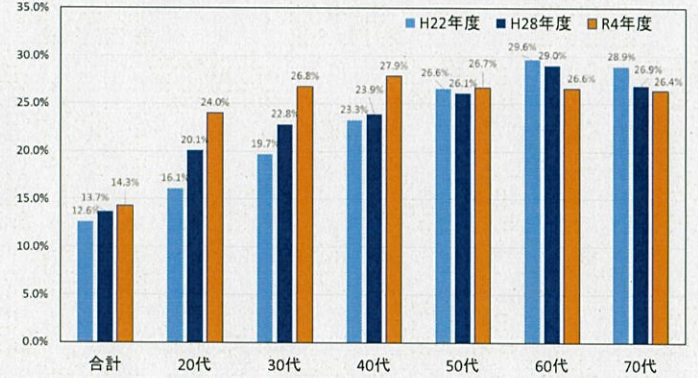
■平成28年度

年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
肥満者の割合	24.1%	13.7%	20.1%	22.8%	23.9%	26.1%	29.0%	26.9%
標本数	66,832人中 16,083人	5,450人中 749人	7,281人中 1,460人	10,682人中 2,438人	11,614人中 2,779人	17,087人中 4,455人	11,860人中 3,434人	2,858人中 768人

■2022年度(令和4年度)

年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
肥満者の割合	25.2%	14.3%	24.0%	26.8%	27.9%	26.7%	26.6%	26.4%
標本数	56,832人中 14,319人	6,416人中 916人	5,333人中 1,278人	8,084人中 2,163人	8,330人中 2,324人	10,908人中 2,916人	13,336人中 3,554人	4,425人中 1,168人

青森県総合健診センター健診受診者肥満者の割合(女性)



【参考】領域1 生活習慣の改善  
分野(4)喫煙  
指標29 成人男性の喫煙率

青森県総合健診センター健診受診者の喫煙率(男性)

■2010年度(平成22年度)

年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
喫煙率	38.5%	39.8%	50.9%	49.4%	43.3%	33.0%	16.9%	13.0%
標本数	67,275人中 25,918人	5,901人中 2,348人	10,103人中 5,140人	12,084人中 5,975人	14,370人中 6,228人	13,268人中 4,374人	8,972人中 1,520人	2,567人中 333人

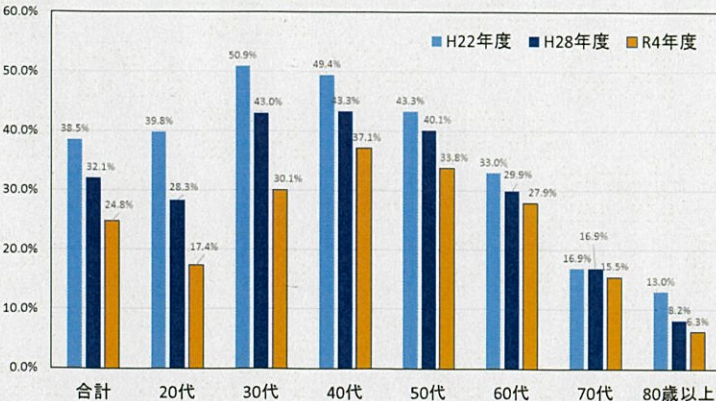
■2016年度(平成28年度)

年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
喫煙率	32.1%	28.3%	43.0%	43.3%	40.1%	29.9%	16.9%	8.2%
標本数	72,001人中 23,148人	6,403人中 1,812人	8,284人中 3,563人	12,989人中 5,617人	12,989人中 5,211人	15,908人中 4,752人	10,655人中 1,800人	4,778人中 393人

■2022年度(令和4年度)

年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
喫煙者の割合	24.8%	17.4%	30.1%	37.1%	33.8%	27.9%	15.5%	6.3%
標本数	61,456人中 15,241人	8,388人中 1,460人	6,003人中 1,804人	9,242人中 3,426人	9,736人中 3,294人	10,967人中 3,060人	12,167人中 1,884人	4,953人中 313人

青森県総合健診センター健診受診者喫煙率(男性)



【参考】領域1 生活習慣の改善  
分野(4)喫煙  
指標30 成人女性の喫煙率

青森県総合健診センター健診受診者の喫煙率(女性)

■2010年度(平成22年度)

年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
喫煙率	10.3%	15.4%	21.8%	20.3%	12.4%	4.6%	1.2%	1.0%
標本数	70,685人中 7,299人中	5,453人中 842人中	6,969人中 1,521人中	10,932人中 2,221人中	14,342人中 1,777人中	16,385人中 749人中	12,357人中 148人中	4,247人中 41人中

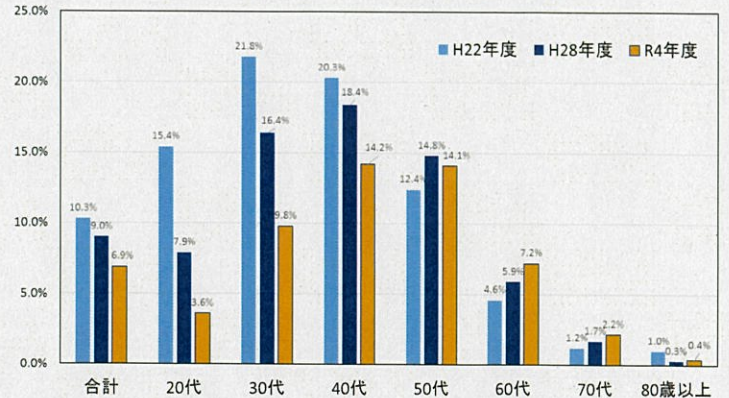
■2016年度(平成28年度)

年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
喫煙率	9.0%	7.9%	16.4%	18.4%	14.8%	5.9%	1.7%	0.3%
標本数	77,150人中 6,917人中	5,561人中 440人中	6,467人中 1,063人中	11,719人中 2,151人中	12,954人中 1,917人中	18,194人中 1,082人中	14,687人中 245人中	7,568人中 19人中

■2022年度(令和4年度)

年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
喫煙者の割合	6.9%	3.6%	9.8%	14.2%	14.1%	7.2%	2.2%	0.4%
標本数	68,103人中 4,696人中	7,769人中 277人中	4,656人中 455人中	9,396人中 1,332人中	9,566人中 1,347人中	12,705人中 910人中	15,673人中 342人中	8,338人中 33人中

青森県総合健診センター健診受診者喫煙率(女性)





## 参考資料2 健康日本21（第二次）との対比



■「健康あおり21（第2次）」における目標設定の考え方

(1) 目標項目

全体目標を達成するため、中間評価を踏まえて、3領域12分野に38の目標項目78の指標（うち3指標は再掲）を設定しました。

(2) 目標値

各指標の目標値は、全国との健康格差の縮小を目指し「健康日本21（第二次）」の推進に関する参考資料等を参考に次のとおり設定しました。

イ 国が示した目標値と同じとしたもの	23 指標
ロ 国が示した増減率等に合わせたもの	17 指標
ハ 国が示した考え方を参考に県が設定したもの	23 指標（再掲3指標）
ニ 県独自のもの	15 指標

(3) 最終評価の評価区分

《健康日本21（第二次）》

計画策定時の値と直近値を比較	評価区分
目標に達した	A
現時点で目標値に達していないが、改善傾向にある (片側P値 (vs.ベースライン値) <0.05)	B (※)
変わらない (片側P値 (vs.ベースライン値) ≥0.05)	C
悪化している (片側P値 (vs.ベースライン値) <0.05)	D
評価困難	E

《健康あおり21（第2次）》

基準値（計画策定時等の値）と現状値を比較	評価区分
目標達成	A
策定時より改善傾向	B
策定時と変わらない	C
策定時より悪化傾向	D
評価困難	E

※健康日本21（第二次）では、「B 現時点で目標値に達していないが、改善傾向にある」のうち、設定した目標年度までに達成しそうなものを「B」、目標達成が危ぶまれるものを「B\*」として評価

【全体目標】

目標項目	指標	健康日本21(第二次)				健康あおり21(第2次)				目標値設定時の考え方	設定根拠	
		基準値	現状値	目標値	最終評価	基準値	現状値	目標値	最終評価			
健康寿命の延伸 (日常生活に制限のない期間の平均の延伸)	男性の健康寿命	70.42歳 (2010年 (H22年))	72.68歳 (2019年 (R1年))	平均寿命の増加を上回る健康寿命であること	2022年度	A	68.95歳 (2010年 (H22年))	71.73歳 (2019年 (R1年))	平均寿命の増加を上回る健康寿命であること	2023年度	A	本県では、健康寿命は全体目標として捉え、個別の目標項目としないものである。
	女性の健康寿命	73.62歳 (2010年 (H22年))	75.38歳 (2019年 (R1年))		2022年度	A	73.34歳 (2010年 (H22年))	76.05歳 (2019年 (R1年))		2023年度	A	
データソース：厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」(2016年)、「健康寿命及び地域格差の分析と健康増進対策の効果検証に関する研究」(2019年) データソース：厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」(2016年)、「健康寿命及び地域格差の分析と健康増進対策の効果検証に関する研究」(2019年)												

領域1 生活習慣の改善

分野(1) 栄養・食生活

目標項目	指標	健康日本21(第二次)				健康あおり21(第2次)				目標値設定時の考え方	設定根拠					
		基準値	現状値	目標値	最終評価	基準値	現状値	目標値	最終評価							
適正体重を維持している者の増加(肥満、やせの減少)	20歳~60歳代男性の肥満者の割合	31.2%	2010年 (H22年)	35.1%	2019年 (R1年)	28.0%	2022年度	D	37.4%	2010年度 (H22年度)	41.2%	2022年度 (R4年度)	34.0%	2023年度	D	国と同様に、計画期間において肥満により肥満者の割合が増加するのではなく維持されることと仮定し、基準値の90%を目標値に設定する。
	40歳~60歳代女性の肥満者の割合	22.2%	2010年 (H22年)	22.5%	2019年 (R1年)	19.0%	2022年度	C	22.0%	2010年度 (H22年度)	34.6%	2022年度 (R4年度)	19.0%	2023年度	D	
	20歳代女性のやせの者の割合	29.0%	2010年 (H22年)	20.7%	2019年 (R1年)	20.0%	2022年度	C	16.0%	2010年度 (H22年度)	18.1%	2022年度 (R4年度)	16.0%	2023年度	D	国と同様に、(国)は基準値時点の地味の中で低一方の20%を目標値として設定し、基準値時点の地味で一番低い値(2012年16%)をその基準目標値に設定する。
データソース：厚生労働省「国民健康・栄養調査」 データソース：青森県国民健康・栄養調査																
肥満傾向にある子どもの割合の減少	10歳(小学5年生)の肥満傾向児の割合(男女合計値)	8.59%	2011年度 (H23年度)	9.57%	2019年 (R1年)	7.0%	2023年度	D	17.0%	2017年度 (H29年度)	17.0%	2022年度 (R4年度)	10.0%	2023年度	D	中間評価を踏まえて、国と同程度の減少率をめざすことと、基準値の21%の値の10%を目標値に設定する。
データソース：文部科学省「学校保健統計調査」 データソース：青森県教育委員会学校保健調査																
低栄養傾向(BMI20.0以下)の高齢者の割合の増加の抑制	低栄養傾向の高齢者の割合	17.4%	2010年 (H22年)	16.8%	2019年 (R1年)	22.0%	2022年度	A	15.5%	2010年度 (H22年度)	14.3%	2022年度 (R4年度)	19.0%	2023年度	A	国と同様に、自然増により見込まれる割合(22.2%)を上回らないこととを目標とする。なお、本県は高齢者の割合が全国より高いが、低栄養傾向の高齢者の割合が少ないことを考慮した。
データソース：厚生労働省「国民健康・栄養調査」 データソース：青森県国民健康・栄養調査																
食塩摂取量の減少	成人の食塩摂取量	10.6g	2010年 (H22年)	10.1g	2019年 (R1年)	8.0g	2022年度	B*	10.5g	2010年度 (H22年度)	10.9g	2022年度 (R4年度)	8.0g	2023年度	D	国と同様の目標値とする。
データソース：厚生労働省「国民健康・栄養調査」 データソース：青森県国民健康・栄養調査																
野菜と果物の摂取量の増加	野菜摂取量の平均値(20歳以上)	282.0g	2010年 (H22年)	280.5g	2019年 (R1年)	350.0g	2022年度	C	265.0g	2010年度 (H22年度)	279.5g	2022年度 (R4年度)	350.0g	2023年度	B	国と同様の目標値とする。
	野菜摂取量の平均値(7~14歳)					目標設定なし			253.0g	2010年度 (H22年度)	234.3g	2022年度 (R4年度)	300.0g	2023年度	D	第6次日本人の栄養所定量の活用(2000年)における野菜摂取量の目安や、朝食による野菜摂取量等を踏まえて、教育の推進率割合から300%を目標値とする。国と同様に、基準値の半減とする。
	果物摂取量100g未満の者の割合	61.4%	2010年 (H22年)	63.3%	2019年 (R1年)	30.0%	2022年度	D	56.5%	2010年度 (H22年度)	66.0%	2022年度 (R4年度)	28.0%	2023年度	D	
データソース：厚生労働省「国民健康・栄養調査」 データソース：青森県国民健康・栄養調査																
利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の新設の増加	管理栄養士・栄養士を配置している施設の新設の割合	70.5%	2010年 (H22年)	74.7%	2019年 (R1年)	80.0%	2022年度	B*	76.8%	2010年度 (H22年度)	87.8%	2021年度 (R3年度)	100.0%	2023年度	B	全ての特定給食施設で管理栄養士・栄養士が利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施することを目指し、100.0%を目標値とする。
データソース：厚生労働省「衛生行政報告例」 データソース：厚生労働省「衛生行政報告例」																

分野(2) 身体活動・運動

目標項目	指標	健康日本21(第2次)				健康あおり21(第2次)				目標値設定時の考え方	設定根拠					
		基準値	現状値	目標値	最終評価	基準値	現状値	目標値	最終評価							
日常生活における歩数の増加	20~64歳男性の日常生活における歩数	7,841歩	2010年(H22年)	7,864歩	2019年(R1年)	9,000歩	2022年度	C	6,884歩	2010年度(H22年度)	6,488歩	2022年度(R4年度)	8,500歩	2023年度	D	国では、1日1500歩の増加がNCD(非感染性疾患)発症及び死亡リスクの約2%減少に相当し、また、血圧を15mmHg減少させることが示唆されることから、国と同様に、基準値から概ね1500歩増を目標値とする。
	20~64歳女性の日常生活における歩数	6,883歩	2010年(H22年)	6,685歩	2019年(R1年)	8,500歩	2022年度	D	6,303歩	2010年度(H22年度)	5,926歩	2022年度(R4年度)	8,000歩	2023年度	D	
	65歳以上男性の日常生活における歩数	5,628歩	2010年(H22年)	5,396歩	2019年(R1年)	7,000歩	2022年度	C	4,664歩	2010年度(H22年度)	4,890歩	2022年度(R4年度)	6,000歩	2023年度	B	
	65歳以上女性の日常生活における歩数	4,584歩	2010年(H22年)	4,656歩	2019年(R1年)	6,000歩	2022年度	C	3,557歩	2010年度(H22年度)	4,213歩	2022年度(R4年度)	5,000歩	2023年度	B	
		データソース:厚生労働省「国民健康・栄養調査」				データソース:青森県県民健康・栄養調査										
運動習慣者の割合の増加	20~64歳男性の運動習慣者の割合	26.3%	2010年(H22年)	23.5%	2019年(R1年)	36.0%	2022年度	C	30.9%	2010年度(H22年度)	16.1%	2022年度(R4年度)	40.0%	2023年度	D	国では、週1時間の運動実施者を現状から10%増加させると国民全体のNCD(非感染性疾患)発症・死亡リスクの約1%減少が期待できるとしていることから、国と同様に、基準値から概ねプラス10%を目標値とする。
	20~64歳女性の運動習慣者の割合	22.9%	2010年(H22年)	16.9%	2019年(R1年)	33.0%	2022年度	D	25.0%	2010年度(H22年度)	14.4%	2022年度(R4年度)	35.0%	2023年度	D	
	20~64歳(男女計)の運動習慣者の割合	目標設定なし				27.2%	2010年度(H22年度)	15.2%	2022年度(R4年度)	37.0%	2023年度	D				
	65歳以上男性の運動習慣者の割合	47.6%	2010年(H22年)	41.9%	2019年(R1年)	58.0%	2022年度	C	42.6%	2010年度(H22年度)	26.5%	2022年度(R4年度)	52.0%	2023年度	D	
	65歳以上女性の運動習慣者の割合	37.6%	2010年(H22年)	33.9%	2019年(R1年)	48.0%	2022年度	C	37.8%	2010年度(H22年度)	24.3%	2022年度(R4年度)	48.0%	2023年度	D	
	65歳以上(男女計)の運動習慣者の割合	目標設定なし				39.8%	2010年度(H22年度)	25.2%	2022年度(R4年度)	50.0%	2023年度	D				
		データソース:厚生労働省「国民健康・栄養調査」				データソース:青森県県民健康・栄養調査										
住民が運動しやすいまちづくり・環境整備について協議する市町村の増加	住民が運動しやすいまちづくり・環境整備について協議する市町村の数	目標設定なし				2市町村	2014年度(H26年度)	40市町村	2022年度(R4年度)	40市町村	2023年度	A	全ての市町村で「住民が運動しやすいまちづくり・環境整備について協議する」ことを目指し、40市町村を目標値とする。(国では、住民が運動しやすいまちづくり・環境整備について協議する都道府県の増加を目標としている。)			
						データソース:青森県がん・生活習慣病対策課調べ										

分野(3) 飲酒

目標項目	指標	健康日本21(第2次)				健康あおり21(第2次)				目標値設定時の考え方	設定根拠					
		基準値	現状値	目標値	最終評価	基準値	現状値	目標値	最終評価							
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している男性の割合	15.3%	2010年(H22年)	14.9%	2019年(R1年)	13.0%	2022年度	C	31.4%	2010年度(H22年度)	31.0%	2021年度(R3年度)	26.7%	2023年度	D	県民健康・栄養調査ではなく、特定健診データによって評価することとし、国の目標設定(10年間で15%削減)と同様の考え方をとする。
	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している女性の割合	7.5%	2010年(H22年)	9.1%	2019年(R1年)	6.4%	2022年度	D	16.9%	2010年度(H22年度)	20.9%	2021年度(R3年度)	14.4%	2023年度	D	
		データソース:厚生労働省「国民健康・栄養調査」				データソース:市町村国民健康保険特定健康診査データ(40~74歳)										
未成年者の飲酒をなくす	中学3年生男子の飲酒の割合	10.5%	2010年(H22年)	3.8%	2017年(H29年)	0%	2022年度	B	6.9%	2011年度(H23年度)	1.5%	2019年度(R1年度)	0%	2023年度	B	国と同様に、未成年者の飲酒は法律で定められていることから、0%を目標値とする。
	中学3年生女子の飲酒の割合	11.7%	2010年(H22年)	2.7%	2017年(H29年)	0%	2022年度	B	9.5%	2011年度(H23年度)	2.0%	2019年度(R1年度)	0%	2023年度	B	
	高校3年生男子の飲酒の割合	21.7%	2010年(H22年)	10.7%	2017年(H29年)	0%	2022年度	B*	15.5%	2011年度(H23年度)	4.5%	2019年度(R1年度)	0%	2023年度	B	
	高校3年生女子の飲酒の割合	19.9%	2010年(H22年)	8.1%	2017年(H29年)	0%	2022年度	B	13.7%	2011年度(H23年度)	4.7%	2019年度(R1年度)	0%	2023年度	B	
		データソース:厚生労働省科学研究費による研究班の調査				データソース:公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査(青森県未成年者喫煙状況調査)										
妊婦中の飲酒をなくす	妊婦中の飲酒の割合	8.7%	2010年(H22年)	1.0%	2019年(R1年)	0%	2022年度	B	8.3%	2010年度(H22年度)	0.9%	2022年度(R4年度)	0%	2023年度	B	国と同様の目標値とする。
		データソース:2010年(H22年)~厚生労働省「乳幼児身体発育調査」2013年(H25年)~厚生労働省科学研究費「健やか親子21」の最終評価・課題分析及び次期国民健康運動の推進に関する研究」				データソース:青森県妊婦連絡系										

分野(4) 喫煙

目標項目	指標	健康日本21(第二次)				健康あおり21(第二次)				目標値設定時の考え方	設定根拠						
		基準値	現状値	目標値	最終評価	基準値	現状値	目標値	最終評価								
成人の喫煙率の減少	成人男性の喫煙率	目標設定なし				36.1%	2010年度(H22年度)	35.4%	2022年度(R4年度)	23.0%以下	2023年度	B	国と同様に、基準値から禁煙希望者が禁煙した割合(37.8%)を減じた値を目標値とする。県の目標値は男性23.0%以下、女性20.0%以下となる。(国では、成人男女全体の喫煙率の減少を目標としている。)	イ			
	成人女性の喫煙率	目標設定なし				7.9%	2010年度(H22年度)	12.0%	2022年度(R4年度)	5.0%以下	2023年度	D		イ			
データソース: 青森県県民健康・栄養調査																	
未成年者の喫煙をなくす	中学1年生男子の喫煙の割合	1.6%	2010年(H22年)	0.5%	2017年(H29年)	0%	2022年度	B	0.4%	2011年度(H23年度)	0.2%	2019年度(R1年度)	0%	2023年度	B	国と同様に、未成年者の喫煙は法律で定められていることから、0%を目標値とする。	イ
	中学1年生女子の喫煙の割合	0.9%	2010年(H22年)	0.5%	2017年(H29年)	0%	2022年度	B*	0.2%	2011年度(H23年度)	0.0%	2019年度(R1年度)	0%	2023年度	A		イ
	高校3年生男子の喫煙の割合	8.6%	2010年(H22年)	3.1%	2017年(H29年)	0%	2022年度	B	2.7%	2011年度(H23年度)	0.9%	2019年度(R1年度)	0%	2023年度	B		イ
	高校3年生女子の喫煙の割合	3.8%	2010年(H22年)	1.3%	2017年(H29年)	0%	2022年度	B	1.1%	2011年度(H23年度)	0.7%	2019年度(R1年度)	0%	2023年度	B		イ
データソース: 厚生労働科学研究費補助金による研究班の調査																	
妊婦中の喫煙をなくす	妊婦中の喫煙の割合	5.0%	2010年(H22年)	2.3%	2019年(R1年)	0%	2022年度	B*	6.5%	2010年度(H22年度)	1.6%	2022年度(R4年度)	0%	2023年度	B	国と同様の目標値とする。	イ
		データソース: 2010年(H22年)~厚生労働省「乳幼児身体発育調査」 2013年(H25年)~厚生労働科学研究費「健やか親子21」の最終評価・課題分析及び次期国民健康運動の推進に関する研究				データソース: 青森県妊婦健診結果											
受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している施設の割合の増加	受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している県庁舎の割合	目標設定なし				50.9%	2011年度(H23年度)	100.0%	2021年度(R3年度)	100%	2023年度	A	全ての施設で受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施することを目標し、100%を目標値とする。	二			
	受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している市町村庁舎の割合	目標設定なし				45.0%	2011年度(H23年度)	100.0%	2021年度(R3年度)	100%	2023年度	A		二			
	受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している文化施設の割合	目標設定なし				78.1%	2011年度(H23年度)	96.6%	2019年度(R1年度)	100%	2023年度	B		二			
	受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している教育・保育施設の割合	目標設定なし				92.0%	2011年度(H23年度)	99.2%	2021年度(R3年度)	100%	2023年度	B		二			
	受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している医療機関の割合	目標設定なし				73.3%	2011年度(H23年度)	99.3%	2021年度(R3年度)	100%	2023年度	B		二			
	受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している事業所(50人以上)の割合	目標設定なし				17.6%	2011年度(H23年度)	57.1%	2021年度(R3年度)	100%	2023年度	B		二			
	受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している事業所(50人未満)の割合	目標設定なし				27.5%	2011年度(H23年度)	71.7%	2021年度(R3年度)	100%	2023年度	B		二			
データソース: 青森県受動喫煙防止対策実施状況調査																	

分野(5) 歯・口腔の健康

目標項目	指標	健康日本21(第二次)				健康あおり21(第二次)				目標値設定時の考え方	設定根拠						
		基準値	現状値	目標値	最終評価	基準値	現状値	目標値	最終評価								
3歳児でう蝕のない者の割合の増加	3歳児でう蝕のない者の割合(※)	77.1%	2009年(H21年)	88.1%	2019年(R1年)	90.0%	2022年度	B	62.5%	2010年度(H22年度)	83.7%	2021年度(R3年度)	90.0%	2023年度	B	国と同様の目標値とする。	イ
データソース: 厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」																	
3歳児で過去1年間でフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合の増加	3歳児で過去1年間でフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合	目標設定なし				47.4%	2011年度(H23年度)	66.2%	2022年度(R4年度)	75.0%	2023年度	B	う蝕予防としてフッ化物歯面塗布の有効性に對する保護者の理解が進み、フッ化物歯面塗布に取り組む市町村が増加している現状から75.0%とする。	二			
データソース: 幼児間食摂取状況等調査																	
12歳児の一人平均う蝕数の減少	12歳児の一人平均う蝕数	目標設定なし				1.74本	2011年度(H23年度)	0.87本	2022年度(R4年度)	1.00未満	2023年度	A	全国平均を目標として国と同様の目標値とする。(国では12歳児の一人平均う蝕数が1.0未満である都道府県の増加を目標としている。)	ハ			
データソース: 青森県教育委員会学校保健調査																	
40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合	37.3%	2005年(H17年)	44.7%	2016年(H28年)	25.0%	2022年度	E	36.7%	2010年度(H22年度)	66.7%	2016年度(H28年度)	25.0%	2023年度	E	国と同様の目標値とする。	イ
データソース: 厚生労働省「歯科疾患実態調査」																	
40歳で喪失歯のない者の割合の増加	40歳で喪失歯のない者の割合	54.1%	2005年(H17年)	73.4%	2016年(H28年)	75.0%	2022年度	E	40.9%	2010年度(H22年度)	77.8%	2016年度(H28年度)	80.0%	2023年度	E	当分の間の年代の8割の者が歯を喪失しないことが望ましいことから、目標値を80.0%とする。	二
データソース: 厚生労働省「歯科疾患実態調査」																	
60歳で24歳以上の自分の歯を有する者の割合の増加	60歳で24歳以上の自分の歯を有する者の割合	60.2%	2005年(H17年)	74.4%	2016年(H28年)	80.0%	2022年度	E	37.0%	2010年度(H22年度)	70.5%	2016年度(H28年度)	80.0%	2023年度	E	国と同様の目標値とする。	イ
データソース: 厚生労働省「歯科疾患実態調査」																	
80歳で20歳以上の自分の歯を有する者の割合の増加	80歳で20歳以上の自分の歯を有する者の割合	25.0%	2005年(H17年)	51.2%	2016年(H28年)	60.0%	2022年度	E	22.0%	2010年度(H22年度)	34.8%	2016年度(H28年度)	50.0%	2023年度	E	中間評価を踏まえて国では目標値を60.0%としたが、本県では目標値未達成のため実数とより目標値を50.0%とする。	二
データソース: 厚生労働省「歯科疾患実態調査」																	
過去1年間に歯科検診を受診した者の割合の増加	過去1年間に歯科検診を受診した者の割合	34.1%	2009年(H21年)	52.9%	2016年度(H28年度)	65.0%	2022年度	E	14.1%	2010年度(H22年度)	28.7%	2022年度(R4年度)	65.0%	2023年度	B	国と同様の目標値とする。	イ
データソース: 厚生労働省「国民健康・栄養調査」																	
データソース: 青森県歯科疾患実態調査(H22) 青森県県民健康・栄養調査(R4)																	

領域2 生活習慣病の発症予防と重症化予防に関する項目

分野(1) がん

目標項目	指標	健康日本21(第2次)				健康あおり21(第2次)				目標値設定時の考え方	設定根拠						
		基準値	現状値	目標値	最終評価	基準値	現状値	目標値	最終評価								
75歳未満のがんの年齢調整死亡率(人口10万対)の減少	75歳未満のがんの年齢調整死亡率(人口10万対)	84.3	2010年(H22年)	70.0	2019年(R1年)	減少傾向へ	2022年	A	97.7	2011年(H23年)	81.6	2019年(R1年)	81.3	2022年	A	「第三期青森県がん対策推進計画」に準じた目標値・目標年次とする。	二
		データソース: 国立がん研究センターがん対策情報センター(厚生労働省「人口動態調査」をもとに算定)				データソース: 国立がん研究センターがん対策情報センター(厚生労働省「人口動態調査」をもとに算定)											
がん検診の受診率の向上	男性の胃がん検診の受診率	36.6%	2010年(H22年)	48.0%	2019年(R1年)	50.0%	2022年	B	37.7%	2010年(H22年)	52.7%	2019年(R1年)	50%以上	2023年	A	「第三期青森県がん対策推進計画」に準じた目標値とする。	ハ
	女性の胃がん検診の受診率	28.3%	2010年(H22年)	37.1%	2019年(R1年)	50.0%	2022年	B*	33.0%	2010年(H22年)	43.5%	2019年(R1年)	50%以上	2023年	B		ハ
	男性の肺がん検診の受診率	26.4%	2010年(H22年)	53.4%	2019年(R1年)	50.0%	2022年	A	31.1%	2010年(H22年)	59.1%	2019年(R1年)	50%以上	2023年	A		ハ
	女性の肺がん検診の受診率	23.0%	2010年(H22年)	45.6%	2019年(R1年)	50.0%	2022年	B	29.3%	2010年(H22年)	52.3%	2019年(R1年)	50%以上	2023年	A		ハ
	男性の大腸がん検診の受診率	28.1%	2010年(H22年)	47.8%	2019年(R1年)	50.0%	2022年	B	31.1%	2010年(H22年)	54.5%	2019年(R1年)	50%以上	2023年	A		ハ
	女性の大腸がん検診の受診率	23.9%	2010年(H22年)	40.9%	2019年(R1年)	50.0%	2022年	B*	29.0%	2010年(H22年)	47.7%	2019年(R1年)	50%以上	2023年	B		ハ
	20~69歳女性の子宮頸がん検診の受診率	37.7%	2010年(H22年)	43.7%	2019年(R1年)	50.0%	2022年	B*	38.9%	2010年(H22年)	44.1%	2019年(R1年)	50%以上	2023年	B		ハ
	女性の乳がん検診の受診率	39.1%	2010年(H22年)	47.4%	2019年(R1年)	50.0%	2022年	B	39.3%	2010年(H22年)	45.6%	2019年(R1年)	50%以上	2023年	B		ハ
データソース: 厚生労働省「国民生活基礎調査」				データソース: 国立がん研究センターがん対策情報センター(厚生労働省「国民生活基礎調査」をもとに算定)													

分野(2) 循環器疾患

目標項目	指標	健康日本21(第2次)				健康あおり21(第2次)				目標値設定時の考え方	設定根拠						
		基準値	現状値	目標値	最終評価	基準値	現状値	目標値	最終評価								
脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)の減少	男性の脳血管疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)	49.5	2010年(H22年)	33.2	2019年(R1年)	41.6	2022年	A	67.1	2010年(H22年)	52.8	2015年(H27年)	45.0	2023年	E	現状値と国の目標値の概ね中間値の45.0を目標値とする。	二
	女性の脳血管疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)	26.9	2010年(H22年)	18.0	2019年(R1年)	24.7	2022年	A	34.0	2010年(H22年)	28.2	2015年(H27年)	24.7	2023年	E	国と同様の目標値とする。	イ
	男性の虚血性心疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)	36.9	2010年(H22年)	27.8	2019年(R1年)	31.8	2022年	A	48.6	2010年(H22年)	33.2	2015年(H27年)	31.8	2023年	E	国と同様の目標値とする。	イ
	女性の虚血性心疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)	15.3	2010年(H22年)	9.8	2019年(R1年)	13.7	2022年	A	17.6	2010年(H22年)	10.4	2015年(H27年)	12.0	2023年	E	指標の変動可能性を踏まえて、現状値を上回る12.0を目標値とする。	二
		データソース: 厚生労働省「人口動態調査」				データソース: 厚生労働省「人口動態統計特殊報告」											
高血圧の改善(収縮期血圧の平均値の低下)	男性の収縮期血圧の平均値	138.0mmHg	2010年(H22年)	137.0mmHg	2019年(H30年)	134.0mmHg	2022年度	B*	139.9mmHg	2010年度(H22年度)	130.1mmHg	2021年度(R4年度)	134.0mmHg	2023年度	A	国と同様の目標値とする。	イ
	女性の収縮期血圧の平均値	133.0mmHg	2010年(H22年)	131.0mmHg	2019年(R1年)	129.0mmHg	2022年度	B	133.4mmHg	2010年度(H22年度)	124.7mmHg	2022年度(R4年度)	129.0mmHg	2023年度	A		イ
		データソース: 厚生労働省「国民健康・栄養調査」				データソース: 青森県国民健康・栄養調査											
脂質異常症の減少	男性のLDLコレステロールが160mg/d以上の者の割合	8.3%	2010年(H22年)	9.8%	2019年(R1年)	6.2%	2022年度	C	9.1%	2010年度(H22年度)	9.1%	2021年度(R3年度)	6.2%	2023年度	B	国では40~79歳を対象としているが、本県では脂質異常者の年齢区分40~74歳とし、国と同様の目標値とする。	イ
	女性のLDLコレステロールが160mg/d以上の者の割合	11.7%	2010年(H22年)	13.1%	2019年(R1年)	8.8%	2022年度	C	12.3%	2010年度(H22年度)	12.1%	2021年度(R3年度)	8.8%	2023年度	B		イ
	※参考値 男性のHDLコレステロールが40mg/d未満の者の割合	目標設定なし				6.6%	2010年度(H22年度)	5.3%	2021年度(R3年度)								
	※参考値 女性のHDLコレステロールが40mg/d未満の者の割合	目標設定なし				1.6%	2010年度(H22年度)	1.0%	2021年度(R3年度)								
		データソース: 厚生労働省「国民健康・栄養調査」				データソース: 青森県国民健康・栄養調査											
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合	約1,400万人	2008年度(H20年度)	約1,516万人	2019年度(R1年度)	2008(H20)年度と比べて25%減少	2022年度	D	26.2%	2010年度(H22年度)	30.8%	2021年度(R3年度)	20.0%	2023年度	D	中間評価を踏まえて、現状値から25%減少を目標値とする。(国ではメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の基準値から25%減少を目標としている。)	ハ
		データソース: 厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」				データソース: 厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」											
特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上	特定健康診査の実施率	41.3%	2009年度(H21年度)	55.6%	2019年度(R1年度)	70%以上	2023年度	B*	35.0%	2010年度(H22年度)	51.4%	2021年度(R3年度)	68.0%以上	2023年度	B	「第三期青森県医療費適正化計画」に準じた目標値とする。	ハ
	特定保健指導の実施率	12.3%	2009年度(H21年度)	23.2%	2019年度(R1年度)	45%以上	2023年度	B*	18.6%	2010年度(H22年度)	25.8%	2021年度(R3年度)	45.0%以上	2023年度	B		ハ
		データソース: 厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」				データソース: 厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」											



分野 (3) 糖尿病

目標項目	指標	健康日本21(第二次)				健康あおり21(第2次)				目標値設定時の考え方	設定根拠						
		基準値	現状値	目標値	最終評価	基準値	現状値	目標値	最終評価								
合併症の減少	糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数	16,247人	2010年(H22年)	16,019人	2019年(R1年)	15,000人	2022年度	C	201人	2010年(H22年)	190人	2021年(R3年)	185人	2023年	B	国は収縮期血圧4mmHgの低下は8%の新規透析導入率の低下をもたらすと推定していることから、国と目標の増減率を活用した目標値とする。	□
		データソース: 日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況」				データソース: 日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況」											
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少【再掲】	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合【再掲】	約1,400万人	2008年度(H20年度)	約1,516万人	2019年(R1年)	2008(H20)年度と比べて25%減少	2022年度	D	26.2%	2010年度(H22年度)	30.8%	2021年度(R3年度)	20.0%	2023年度	D	中間評価を踏まえて、現状値から25%減じた割合を目標値とする。(国ではメタボ該当者及び予備群者の基準値から25%減少を目標としている。)	ハ
		データソース: 厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」				データソース: 厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」											
特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上【再掲】	特定健康診査の実施率【再掲】	41.3%	2009年度(H21年度)	55.6%	2019年(R1年)	70%以上	2023年度	B*	35.0%	2010年度(H22年度)	51.4%	2021年(R3年)	68.0%以上	2023年度	B	「第三期青森県医療費適正化計画」に準じた目標値とする。	ハ
		12.3%	2009年度(H21年度)	23.2%	2019年(R1年)	45%以上	2023年度	B*	18.6%	2010年度(H22年度)	25.8%	2021年(R3年)	45.0%以上	2023年度	B		ハ
データソース: 厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」				データソース: 厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」													

分野 (4) COPD

目標項目	指標	健康日本21(第二次)				健康あおり21(第2次)				目標値設定時の考え方	設定根拠						
		基準値	現状値	目標値	最終評価	基準値	現状値	目標値	最終評価								
COPDの認知度の向上	COPDの認知度	25.0%	2011年(H23年)	28.0%	2019年(R1年)	80.0%	2022年度	C	17.4%	2013年度(H25年度)	25.9%	2016年度(H28年度)	80.0%	2023年度	E	国と同様の目標値とする。	イ
データソース: GOLD日本委員会調査				データソース: 青森県ウェブアンケート、青森県電子申請・届出システム													

領域3 こころの健康づくり

分野 (1) こころの健康

目標項目	指標	健康日本21(第二次)				健康あおり21(第2次)				目標値設定時の考え方	設定根拠						
		基準値	現状値	目標値	最終評価	基準値	現状値	目標値	最終評価								
自殺者の減少	自殺死亡率(人口10万対)	23.4	2010年(H22年)	15.7	2019年(R1年)	13.0以下	2025年度	B	26.2	2011年(H23年)	23.4	2020年(R2年)	16.6	2023年	B	「いのちを支える青森県自殺対策計画」に準じた目標値とする。	ハ
データソース: 厚生労働省「人口動態調査」				データソース: 厚生労働省「人口動態統計」													

分野 (2) 休養

目標項目	指標	健康日本21(第二次)				健康あおり21(第2次)				目標値設定時の考え方	設定根拠						
		基準値	現状値	目標値	最終評価	基準値	現状値	目標値	最終評価								
睡眠による休養が十分にとれていない者の割合の減少	睡眠による休養が十分にとれていない者の割合	18.4%	2009年(H21年)	21.7%	2018年(H30年)	15.0%	2022年度	D	31.0%	2010年度(H22年度)	22.7%	2021年度(R3年度)	22.0%	2023年度	B	全ての年齢階級で統計学的に有意な低下が認められる値(基準値より50%減少)とした。	ハ
データソース: 厚生労働省「国民健康・栄養調査」				データソース: 市町村国民健康保険特定健康診査データ(40~74歳)													

分野 (3) 認知症

目標項目	指標	健康日本21(第二次)				健康あおり21(第2次)				目標値設定時の考え方	設定根拠						
		基準値	現状値	目標値	最終評価	基準値	現状値	目標値	最終評価								
認知症サポーター及びキャラバン・メイト数の増加	認知症サポーター及びキャラバン・メイト数	545万人	2014年度(H26年度)	1,264万人	2019年度(R1年)	1,200万人	2020年度	A	83,837人	2017年度(H29年度)	127,834人	2022年度(R4年度)	120,000人	2020年度	A	「あおり高齢者健やか自立プラン2018」に準じた目標値。目標年次とする。(国では認知症サポーター数の増加を目標としている。)	ハ
データソース: 厚生労働省を健康認知症施策推進室による把握(認知症サポーター数のみ)				データソース: 全国キャラバン・メイト連絡協議会													

